



独立行政法人 国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

〒193-0997 東京都八王子市梶田町1220-2

代表電話 **042-668-5111**

<https://www.tokyo-ct.ac.jp/>



[交通機関]

京王線

- 狭間駅(特急停車)から徒歩5分
- めじろ台駅(特急停車)から徒歩15分またはタクシー5分

JR中央線

- 高尾駅から徒歩25分

京王バス

- 八王子駅南口から「めじろ台駅」行き17分
- 東京高専前下車、徒歩1分

独立行政法人 国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokyo College

未来を拓くトップエンジニアの育成

— 創造力・実践力・応用力 —

これからの 技術者が育つ 「社会実装教育」

自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに
社会と協創する重要性を体感する
今までにない全く新しい教育プログラム。



アイデアを形にして 各種コンテストで受賞

- 受賞者の中には、起業に至った学生もいます。
- ロボコン2年連続全国大会出場
- プロコン14年連続入賞中、これまでに全部門制覇2回、全国最多の優勝回数



シンクロアスリート

各種 メディアからも 注目!



浅川地下壕の三次元地図

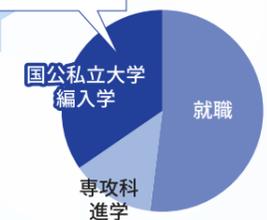
国立大学への
進学実績多数

景気に 左右されない 進路実績

本科
求人倍率

20

倍以上



CONTENTS

KOSEN TOPICS	P03
本校の教育	P05
産学連携・研究活動	P11
学科紹介	P13
キャンパスライフ	P26
東京高専Q & A	P32
各種データ	P33
キャンパスマップ	P45

校長あいさつ



東京工業高等専門学校 校長
谷合 俊一

東京高専の特徴は早期からの専門的・実践的教育です。高校と同様に一般教養科目をしっかり学びつつ、1年生からものづくり教育がスタートします。学年が進むにつれて専門教育の時間数が増加し、レベルも高度なものとなっていきます。また、大学と比べると実験・実習が豊富で、より実践型の人材育成を重視しています。

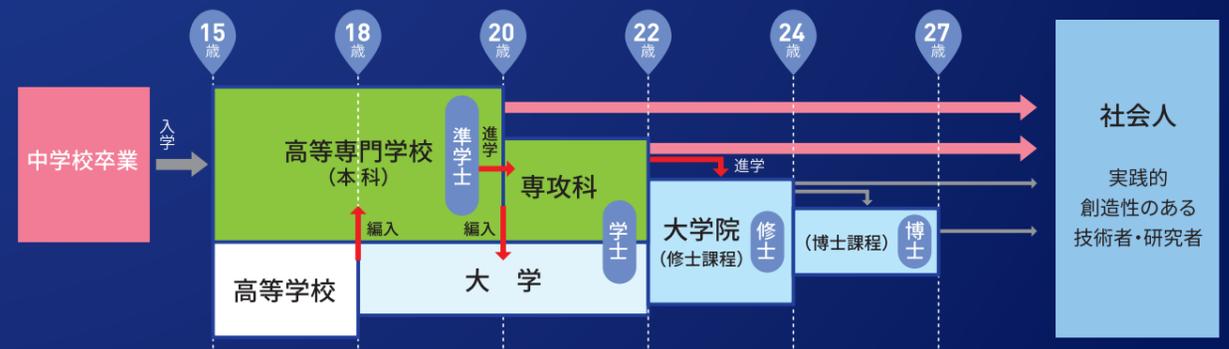
中でも東京高専の代名詞とも言うべきは4、5年生の必修科目である「社会実装プロジェクト」です。企業や地域が抱えるリアルな課題を発見し、高専で学んだ知恵と技術力を総動員して解決策を提案します。このプログラムを通じて培われる「社会実装力」は、将来、社会人になったときに求められる能力そのものであると考えます。

また、産業界との距離が極めて近いのも特徴です。社会実装教育やインターンシップ、共同研究等を通じて企業と密接に連携を図り、AIやロボットなど最先端のテクノロジーを迅速に教育に取り入れていきます。

東京高専は、5年一貫だからこそ実現できる密度の濃い体系的な専門教育によって、卒業時には自分だけの「強み」を持ったスペシャリストに育て上げることを目指しています。意欲ある若者が東京高専の門をたたいてくれることを、教職員一同心よりお待ちしております。

高等専門学校とは…

高等専門学校(高専)は実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。



高専の 特色

- 5年一貫教育
- 実験・実習を重視した専門教育
- ロボコン、プロコン等の全国大会開催
- 卒業生に対する産業界からの高い評価
- 卒業後、更に高度な技術教育を受けるための専攻科(2年間)を設置
- 学校敷地内にある学生寮
- 家計に優しい学費

TOPICS
1

第35回全国高等専門学校 ロボットコンテスト

関東甲信越地区大会 準優勝 全国大会出場

高専ロボコン2022の競技テーマは「ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ～」。3年ぶりの対戦型競技で、ロボットが自作の紙飛行機を飛ばして様々なオブジェクトに乗せて点数を競うという課題でした。東京高専Bチーム「∞∞∞∞(トリニティ)」は、3門の射出ユニットから紙飛行機を大量に連射するロボットで、予選リーグ・決勝トーナメントを勝ち抜き、準優勝で全国大会出場を果たしました。また、東京高専Aチーム「鶴翼(カクヨク)」は、9つの機構から紙飛行機を一斉射出するロボットで決勝トーナメント進出を果たしており、ネット上ではその機体の美しさが評価されていました。



学生の声

∞∞∞∞(トリニティ)
チームリーダー
機械工学科3年
原 悠真 さん

私がチームリーダーという役職を通して皆様に伝えたいことはものづくりとは理屈だけでなく人と人のつながりが大事という事です。ロボットは一つの分野だけで完結することなく、機械・電気・制御といった複数の分野が絡み合っています。そのため一つのロボットを作るために分野ごとの知識を持った多くの人に関係してきます。人間同士ですら感情が伴い、分野ごとの言い分があるわけですから、そこで上手く人と人・分野と分野をつなげることが良いロボットを作り上げることに繋がります。つまり技術だけにこだわらず人間的な面も大事にすることが成功のカギだと思います。

全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)は、「自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの面白さを体験することを目的とし、毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使して制作したロボットで競い合います。

TOPICS
2

第33回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト

最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
電子情報処理学会若手奨励賞 BCN ITジュニア賞 NAPROCK国際大会Grand Prize

第33回群馬大会では、本校から予選を突破した自由部門2チーム、課題部門1チーム、競技部門1チームが出場し、自由部門で最優秀賞(優勝)、特別賞(3位相当)を受賞しました。最優秀賞作品は「お遍路さん」です。東京高専は過去14年間連続入賞中、その間の優勝チーム数10は全国最多です。

「お遍路さん」は、コロナ禍で衰退してしまった四国八十八カ所霊場を巡るお遍路文化の活性化を目指し、日本を代表する文化の衰退を危惧するお遍路宿、霊場会など、多くの方の協力を得て開発しました。徳島県での実地テストや現地協力者の意見をもとに改善を重ね、本大会に臨みました。本大会では実際にお遍路で使っている状況を再現したデモを行い、お遍路の姿でプレゼンし、作品がお遍路文化の活性化にどのように役立つか、わかりやすく説明しました。

全国高等専門学校プログラミングコンテスト(高専プロコン)は、優秀なIT人材を社会に供給することを目的としています。課題部門、自由部門、競技部門の3部門で構成され、予選を勝ち上がったチームが本選に出場し、各部門で最優秀賞を獲得したチームには文部科学大臣賞が授与されます。



お遍路さんの現地調査の様子



コンテストで発表している様子

学生の声

チームリーダー
情報工学科3年
永谷 凜太郎 さん

「お遍路さん」はコロナ禍後のお遍路文化の再興を願って開発されたアプリケーションです。お遍路経験者やお遍路宿などの、多くの関係者の協力を得て開発されました。徳島での現地テストも行い、翻訳機能の実装などの多くの改善が提案されました。大会では、実際のお遍路の場面を想定したデモを行い、白装束で発表しました。開発は半年にわたり、高評価を得た際は苦労が報われたと涙しましたね。

K O S E N T O P I C S

※記載の学年は、受賞時の学年です。

TOPICS
3

第1回高専GIRLS SDGs×Technology Contest (高専GCON2022)

60周年記念賞

物質工学科3年生4名が結成した“モンゴルと日本の環境問題を考える女子学生”チームが、“毒をもって毒を制す—廃棄物で水を浄化する方法に関する研究—”というタイトルで研究した成果を発表しました。90チーム余りが参加した予選を勝ち抜き、本戦にて「60周年記念賞」を受賞しました。この研究はモンゴルの深刻な水環境汚染を動物の屠殺残渣を用いて浄化するという一石二鳥を狙った研究で、2030年までに達成すべきSDGs(持続可能な開発目標)に大いに貢献できる成果が得られているところが評価されました。



高専GIRLS SDGs×Technology Contestは、参加学生がSDGsの理念を理解し、さらには日頃行っている研究や学習がSDGsの観点から社会課題に対してどう貢献できるかを考えることにより、未来の研究者・技術者としてより成長することを期待するものです。令和4年度は「高専60周年記念企画」として第1回大会が開催されました。

学生の声

チームリーダー 物質工学科3年
田邊 梨帆 さん

先日開かれた高専GCON2022で60周年記念賞をいただけてチームメンバー同嬉しい気持ちでいっぱいです。創造実験という授業の一貫として実験を行いました。実験や発表において初めての事ばかりで、自分たちで調べ、実践することによって多くのことを学びました。本番の発表では、協賛の方々から質問やアドバイスを頂き、さらに学びが深まりました。今回の経験を活かし、今後も実験や発表を頑張っていきたいです。



TOPICS
4

第4回 高専防災コンテスト

特別賞

地域防災力の向上に向けて、高専生が企画立案と課題検証を行うのが高専防災コンテストです。地域の防災に関する課題と解決手段を企画提案し、書類選考の後、採択された課題についてアイデア検証を行います。最終報告会で成果を発表し、審査員やメンターからの評価が高かったチームが表彰されます。

学生の声

機械工学科4年
木村 明香里 さん

社会実装プロジェクトで、ルンバの環境認識地図を利用した家屋内防災地図作成システムの構築というテーマに取り組み、防災科学技術研究所主催の高専防災コンテストで特別賞をいただきました。社会実装が始まる以前は専門知識に自信がなかったため自分がグループに貢献することは想像もつきませんでした。社会実装の授業では、担当の先生と相談しながらプロジェクトを進められたため、自分の能力に縛られず自由に頑張ることができ、結果を残すことができました。



TOPICS
5

日本生体医工学会 日本生体医工学 サマースクール2022

最優秀賞

医学に工学技術を取り入れて、診断や治療に有効な手段について研究している大学、大学院生の学生、若手研究者へ向け開催されます。ニーズを把握し、アイデアを練り、ものづくりをしながらアイデアをより具体的にしていきデモ等を変えて成果を発表し、審査員や他の参加者の関心を集めたグループが表彰されます。

学生の声

電気電子工学専攻2年
吉川 真由 さん

生体医工学サマースクールでは医療従事者の意見を取り入れ、現場の課題を解決するために2日間という限られた時間で開発を行いました。私は機器の水漏れを光センサーで検知してチャットで知らせるシステムを提案しました。大学院の学生が多く集まる中、高専での研究や社会実装教育で身につけた実践力を活かすことができ、短期間で実装まで成し遂げることができました。審査員の方や現場の方からも高い評価を頂き、最優秀賞を受賞しました。



本校の教育



本校の教育方針

東京工業高等専門学校ではこんな学生を求めています。

入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

本校では、未来社会をつくる技術者(エンジニア)を育てるため次のような入学生を求めています。

理数系科目が得意で 学習意欲がある人

- **数学**や**理科**が好きで、それらの成績が**優秀**である
- **自分自身**で**規則正しい生活習慣**や**予習・復習を継続**できる
- 宿題やレポートは**期限を守って提出**できる
- **好奇心**をもって新しい学びに**チャレンジする意欲**がある
- **英語力**を伸ばしたいという**熱意**がある

ものづくりに興味がある人

- **新しいものを作り出すことに熱意**がある
- **仲間とともにチーム**でもの**づくり**がしたい

科学や技術を社会のために役に 立てたいと思う人

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

本校では、学習・教育目標に定める人財を育成するため、専門分野に関する知識・スキル、教養、国際性及び専門能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。

教育目標

教育目標の大枠は、次の4つの能力・資質を身につけ、国際化・複合化に対応できる「**ものづくりエンジニア**」の育成です。

① 社会に必要な**教養(市民性と人間力)**

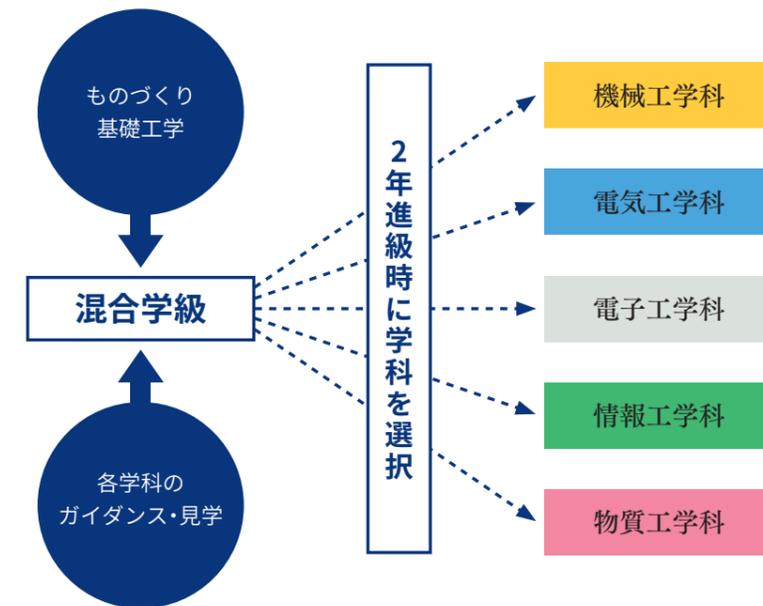
② 社会に必要な**国際性**

③ エンジニアとして必要な**基礎学力と専門能力**

④ 卒業後も成長し続けるために必要な**「学び方」の学習力**

「混合学級」と「学科選択制度」

1年次の「ものづくり基礎工学」で全5学科の学習内容を体験します。また、複数回実施される各学科のガイダンス・見学などをおし、自身に適した学科をじっくりと検討のうえ選択できます。
(各学科において定員の上限を超えた場合は、本人の希望と適性(日常成績を含む)とにより配属学科が決定されます。)



— Students Interview —



情報工学科
明石 祐輝さん
令和3年度入学
府中市立府中第九中学校
出身



電気工学科
野々部 咲月さん
令和3年度入学
川崎市立高津中学校
出身

1年生のうち個性の強い友人が多くて、楽しい学校生活を送っています。友人と話している中で専門的な技術の知識を得ることも多くあります。また、長期休みが普通高校よりも長く、放課後の活動も少ないため、自由な時間が多く、自分のやりたいことに時間を費やすことができます。私は入学時には専門的な技術についての知識がほとんどありませんでしたが、友人の話の聞いたり、自由な時間を少し削って勉強したりすることで、それなりにプログラミングができるようになりました。

1年生は混合学級のため、希望学科以外の学科の人と活動することも多く、様々な分野に興味を持つ友達と切磋琢磨することができました。また、研究室見学や行事を通じて、各学科の先輩の話を聞けるので、学科選択の際にとっても参考になりました。そのため、2年生以降、何を学びたいか、将来はどんな仕事につきたいかなどをよく考えて、学科を選ぶことができ、その後の学校生活の具体的な目標を決めることができました。

詳細については準学士課程はp37を、専攻科課程はp38を参照

社会実装教育の取り組み

これからの技術者が育つ「社会実装教育」

東京高専では、高専教育改革の柱の一つとして「社会実装教育」を提案し、その具現化と着実な推進に取り組んでいます。
 「社会実装教育」とは、イノベーションを実現できる技術者の育成を目指し、「①課題の把握、②提供する価値の考案・試作、③社会に導入する、④評価を得る」ということを社会と繋がりながら繰り返し、自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに社会と協創する重要性を体感する今までにない全く新しい教育プログラムです。新たな視点で整備した東京高専の新教育課程(カリキュラム)へ、新たな授業科目「社会実装プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(全学科共通必修科目)を導入し、本科4・5年生全員がチームワークで社会実装課題に取り組んでいます。

社会実装プロジェクトについて

相手の立場や専門性にに応じて多様な方法で円滑なコミュニケーションをとることができ、社会にアプローチして、課題を発見し、具体的かつ論理的な実効策を提案できる汎用的能力の習得を目指します。

チームワーク力を有した上でリーダーシップをとる、あるいは、他者と協調して行動することができ、倫理観を持って工学に取り組むことができる態度・志向性の習得を目指します。

クライアントの要求を解決するためのプロセスを理解し、複合的な工学的課題や需要に適合したシステム・構成要素・工程を設計することができる創造的思考力の習得を目指します。

各科目の内容



社会実装プロジェクトⅠ (4年 前期1単位)

ケーススタディを主とした科目

課題発見力の重要性を学び、技術と社会の関係性を理解し、情報収集・解析から課題解決に向けた提案まで体験します。

社会実装プロジェクトⅡ (4年 後期2単位)

プロトタイプングを主とした科目

学校内外パートナーと連携した取り組みをチームワークで遂行し、社会と価値を生み出すプロジェクト基礎編です。

社会実装プロジェクトⅢ (5年 前期2単位)

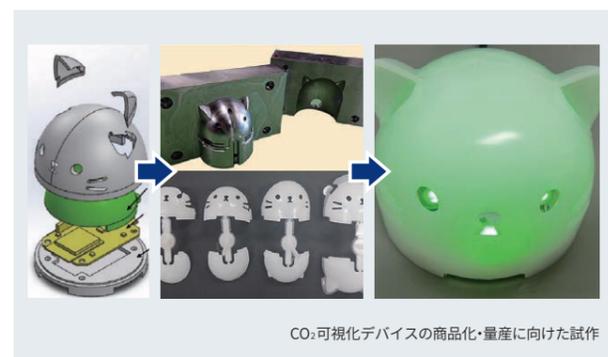
プロジェクト応用編科目

Ⅰ・Ⅱで身につけた知識とスキルを発展させていきます。社会実装指向の取り組みをより深めた相応の成果とその発信が期待されます。

「社会実装プロジェクト」取り組みテーマ例

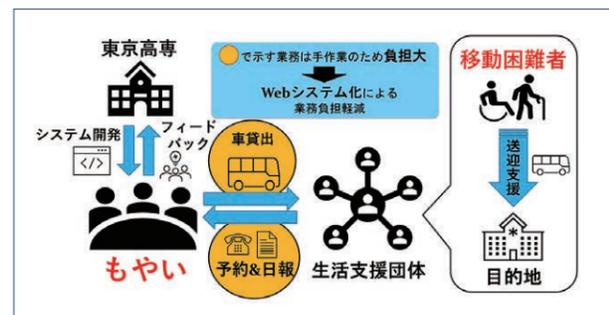
CO₂可視化デバイスの商品化・量産に向けた試作

協力企業のご支援の下、本校で開発された二酸化炭素濃度の測定センサー「ガスにゃん」の外装をデザインし、企業技術者とのディスカッションとフィードバックを重ねながら、射出成形による量産用金型の試作に取り組みました。



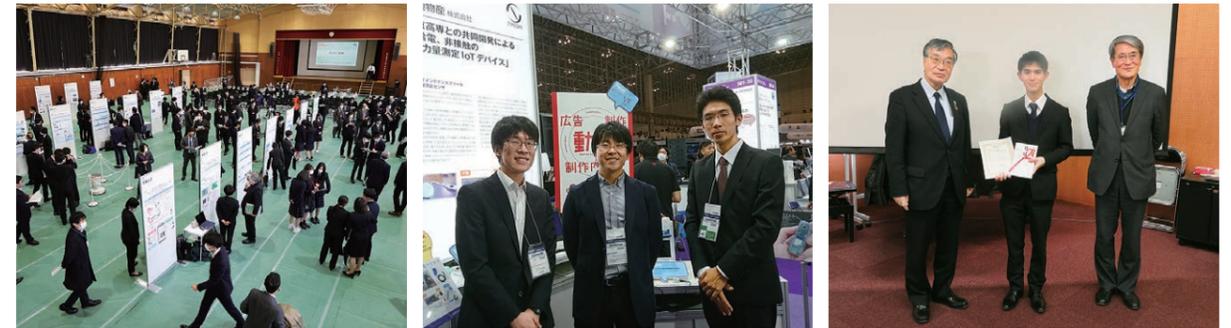
移動困難者向け支援サービス円滑化のためのシステム構築と利用実態把握のためのデータ分析

高齢者などの移動困難者を支援する地域のボランティア団体に対して、無料で車の貸し出しや送迎サポートを行うNPO法人と協力し、煩雑な事務作業を自動化するWebシステムを開発。
 また、送迎車の位置情報を収集し、データ分析を行うことで、移動支援の需要や実態の可視化を行いました。



社会実装教育フォーラム

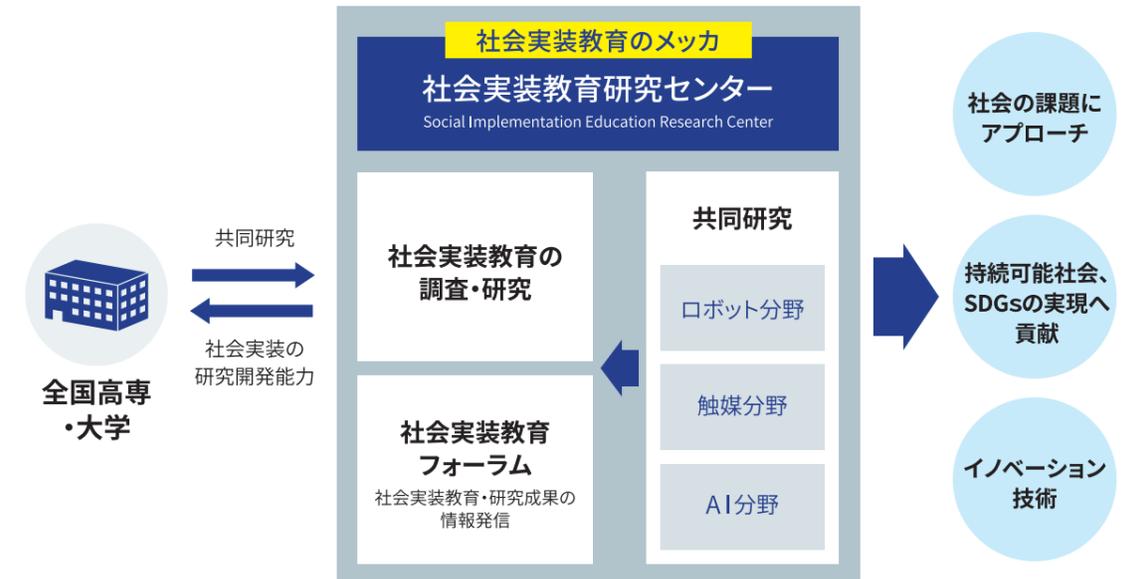
東京高専では、毎年3月に2日間に渡って「社会実装教育フォーラム」を開催しています。
 このフォーラムは、「社会実装教育」で学生が取り組んだ成果をコンテスト形式で発表し、教育的観点からそのプロセス(課題発掘からその解決に向けた取り組み全体)を評価されるとともに、専門家的確かな評価を受けます。東京高専のみならず、全国の高専から多くの学生が参加する一大イベントです。
 審査員となる専門家は、学識経験者、企業経営者及び技術部門責任者、関係行政機関、海外連携校教授等で構成され、専門家の立場から見た評価を直接学生に伝えていただいています。



社会実装教育研究センターの設置

社会実装教育研究センターを設置しました。本センターは「社会実装教育のメッカ」として、社会実装に関する研究・教育を推進することを目的に、現在主に次の事業の準備を進めているところです。本センターは、本校附属の共同利用研究センターとして、社会実装に関する研究・教育の進展に大きく貢献していきます。

総合社会実装教育拠点



- 1 社会実装に関する研究・教育の共同研究の実施
- 2 社会実装志向の共同研究と学びの場の提供
- 3 社会実装教育フォーラムの開催

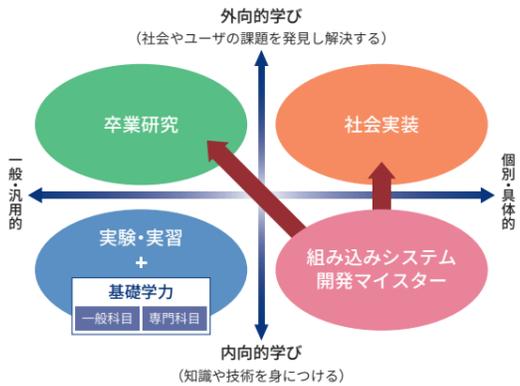
組み込みシステム開発マイスター

組み込みシステム開発マイスターとは？

東京高専では、平成20年度より全校の学生を対象とした「組み込みシステム開発マイスター制度(組み込みマイスター)」を開始し、意欲ある学生が主体的に実践的なものづくりに取り組める環境を整えています。

組み込みマイスターでは、社会実装教育における必須スキルの一つである、チームで協力しながらプロトタイプ開発を推進するスキルを身につけることができます。組み込みマイスターで培った能力および開発経験は、社会実装プロジェクトや卒業研究に役立つだけでなく、プロトタイプを活用することもできます。実際に、組み込みマイスター、社会実装プロジェクト、卒業研究にまで連携して活動し、プロトタイプの作品を社会へ実用化する段階にまで至った学生もいます。

I 組み込みマイスターの位置付け



組み込みシステム開発マイスター制度

組み込みマイスターでは1年間を実施期間とし、前期は学生教育士による演習形式の講義を実施し、後期にチームで作品製作に取り組んでいます。参加学生は(コロナ禍の影響で令和2年度は減少しましたが)年々増加しており、令和4年度も100名以上の応募がありました。

前期の演習講義では、ものづくりに必要な基本的な技術について、教員ではなく学生教育士(前年度までに「組み込みマイスター」を修得した学生)が中心となって教えます。演習講義は、小型コンピュータ端末(マイコン)の基礎、Androidアプリ開発、3Dプリンタの使い方など多岐に渡ります。

後期は前期の演習講義で学んだことを活かし、少人数チームで作品製作に取り組みます。また、学生教育士に加え、ヤフー(Yahoo!)ジャパンの技術員によるサポートも受けられ、初めて挑戦する学生チームでもものづくりに挑戦しやすい環境となっております。最終成果報告会ではヤフーの技術者も審査員となって各チームの作品を評価し、優秀な作品のチームは表彰されます。

1年間のマイスター活動を終えた学生にはマイスター認定証が与えられます。2年目からは学生教育士として参加も可能であり、実習講義の指導から他チームの制作のサポートまで担当します。



マイスター認定
ものづくり実践工学(2単位)



マイスター認定証

マイスター応募者数&認定者の傾向

組み込みシステムで製作された作品例

写真左の作品は、JR車両を忠実に再現しており、型からすべて自作で製作しています。また、行き先を示す方向幕や正面のライトは実際に動かすことができます。



まるで本物のようなJR車両の模型

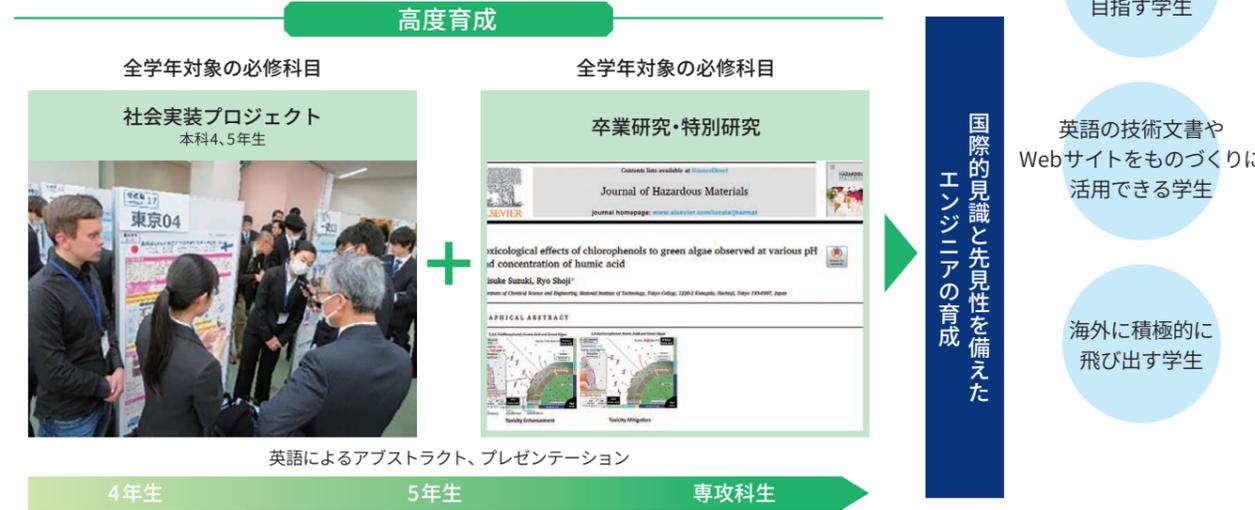


エアガンに取り付けることで弾数を可視化

写真右の作品は、スマホと連携してエアガンの弾数を可視化する作品となっています。通常のエアガンには、弾数を把握しづらい問題があります。本作品はどんなエアガンでも簡単に取り付けが可能で、スマホと連携することで自由に画面をカスタマイズでき、市販品にも存在しない機能がうまく組み込まれています。

グローバル化推進の取り組み

本校グローバルエンジニア育成事業では、学生を世界で活躍できる「グローバルエンジニア」として育成するため、広く世界に目を向け、海外へ飛び立つ機会を拡充しています。学生自らの積極的・意欲的な学習を促し、特に英語を中心とした国際コミュニケーション力については、客観的な成果指標を設定し、確実に向上を図ることを目的として力を入れています。



令和4年度の主な取り組み

- 本校グローバルエンジニア育成事業では様々な課外講座を企画・実施しています。また、国際寮1階フリースペースにEnglish Caféを開設し、定期的にイベントを開催しています。
- 「英語で学ぶ物理学」(1年生対象)
- 「英語で学ぶSDGs」(専攻科生対象)
- 「エンジニアのための実践英会話入門」(全学年対象)
- 海外協定校等とのオンライン交流(専攻科生対象)
- 外国人ゲストスピーカーによるキャリア講演会(専攻科生対象)
- 「Academic Presentation in English」(3-5年生対象)
- 「Programmable System on Chip (PSoC) Design」(全学年対象)

協定校メトロポリア応用科学大学、アンティ・ピロネン教授による特別講演会(全学年対象)の様子(令和4年12月)▶



研究活動の成果(商品化)



2030年までに“持続可能な社会を実現する”というSDGsの達成には、環境問題に関する知識と科学技術が必要不可欠です。例えば、土壌の汚染は人の目では見えません。それを見える化することが土壌汚染問題の解決に重要です。なんとかこの難しい課題を解決したいという思いで学生と教員が力を合わせて、社会実装教育として“重金属検出キット”を創りました。土と水の混合液に浮かべて15分待つだけで、重金属が土に入っているとキットの色が変わるといった画期的なものです。現在、この研究は民間企業との産学連携による共同研究に発展しており、一部は商品化されています。

この研究に携わっている学生いわく「世の中の役に立つ研究をしているという充実感が大きく、とてもよい勉強になります」とのこと。民間企業という実社会の方々と学生との直接のやりとりは、高専が志す実践的な技術者を育成するという目的にも合致する優れた教育の機会にもなっています。

- Profile -



物質工学科教授 庄司 良
 専門分野 : 環境工学、生物工学
 主な担当授業 : 生体材料工学、環境工学特論、ものづくり基礎工学、物質工学実験II

研究活動(地域連携)

※ 社会連携・支援推進室



要介護・要支援状態となる高齢者の増加抑制を目的として、転倒や認知症の予防となる取組を、対話ロボットやタブレット端末内のキャラクターとの対話を楽しみながら、ゲーム形式で習慣的に実施可能となることを目指す、介護予防システムの研究開発に従事しています。

この取組は八王子市内の保健福祉センター、高専近隣のシニアクラブ、神奈川県藤沢市に所在する介護老人保健施設、および杏林大学保健学部といった様々な組織と連携し、高齢者の皆様にシステムを実際に使っていただき意見を頂戴しながら、2011年より進めてきました。

近年はコロナ禍のため高齢者向け実験の実施は困難でしたが、オンラインでのアンケート調査や学生を対象とした実験を行っています。今後は、各々独立に開発している転倒予防/認知訓練システムと、利用者システムとの対話を促進する知的対話エージェントを統合した包括的システムの実現に向け、各所との連携を一層強化しながら開発を進めます。また、日本と同様に高齢化が進むアジア諸国での実験実施も計画しています。

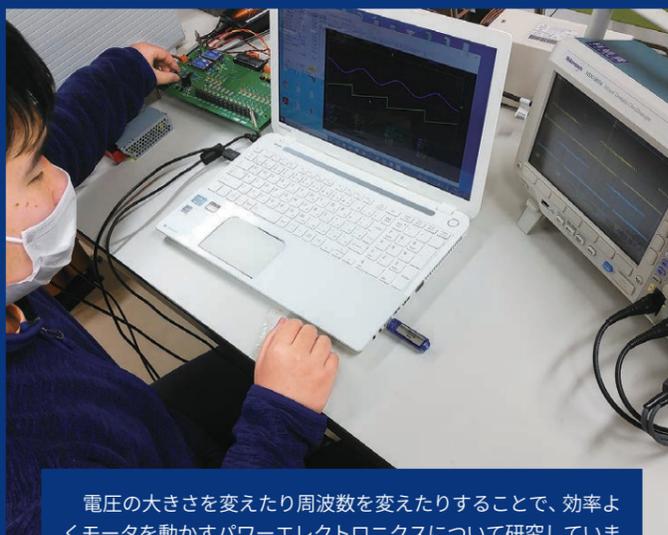
- Profile -



情報工学科教授 北越 大輔
 専門分野 : 機械学習
 主な担当授業 : データマイニング、実践プログラミング

研究活動(産学連携)

※ 産業技術センター



電圧の大きさを変えたり周波数を変えたりすることで、効率よくモータを動かすパワーエレクトロニクスについて研究しています。パワーエレクトロニクスの技術はスマートフォンのような小型機器から電車・自動車などの大型機器にまで幅広く使用されており、エネルギーを効率よく(損失を少なく)使用することで“持続可能な社会の実現”に貢献しています。最近、電力変換装置(モータ用の電源)の動かし方を工夫することによりモータの動作は変えないまま電磁音や電磁ノイズを低減する技術や、太陽光発電などの直流発電システムを直流のまま電圧変換する技術を研究しています。これにより、防音の設備や電磁ノイズ対策用の付属部品を削減したり、損失を少なくしたりすることができます。

この研究は、学生も参画して電機メーカーや大学と共同研究をしています。定期的に共同研究先の担当者と打合せをする中で、新しい解決法を提案し、回路シミュレーションによる評価や実験による検証をしています。さらに、学生には打合せにおいて評価内容を報告してもらっており、その成果を学会で発表してもらっています。

- Profile -



電気工学科教授 綾野 秀樹
 専門分野 : 電力変換工学
 主な担当授業 : 電気機器 I・II、電磁エネルギー変換特論、エネルギーシステム工学、電気回路II

産学連携 及び 地域連携

を推進しています。

東京高専は企業や地域が抱えるリアルな課題に関して先進的・独創的分野の



東京高専では、教育・研究等の連携を目的に大学等と、地域活性化や産学連携を目的に産業界・行政機関・金融機関と、理科教育の充実・支援を目的に教育委員会と協定を締結しています。

協定等締結一覧表

※ 締結日付順

大学研究機関等		
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	平成 16. 6. 2	
北陸先端科学技術大学院大学	平成 17. 5. 24	
東京工業大学	平成 23. 4. 1	
東京医科歯科大学	平成 26. 1. 1	
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	平成 28. 2. 8	
千葉工業大学	平成 28. 9. 30	
メトロポリタニア応用科学大学	平成 29. 8. 14	
上越教育大学	令和 3. 3. 16	

産業界	
八王子商工会議所	平成 21. 1. 30
相模原商工会議所	平成 21. 2. 5
東京高専技術懇談会	平成 27. 3. 24

行政機関等	
相模原市	平成 21. 2. 5
八王子市	平成 21. 2. 10
相模原市教育委員会	平成 25. 9. 11
八王子市教育委員会	平成 26. 1. 14
東京都立産業技術研究センター	平成 26. 3. 26

金融機関	
多摩信用金庫	平成 19. 9. 26
西武信用金庫	令和 3. 1. 8

4 受託試験 件数 48 総額(単位:千円) 4,995

本校の研究装置を利用して、分析、測定などを行っています。ESCA(光電子分光複合分析装置)による表面分析、SEM(走査型電子顕微鏡)による分析などがあります。

5 寄附金 件数 19 総額(単位:千円) 20,331

学科、研究プロジェクト、産業技術センター等の教育・研究組織や教員個人に対して、教育研究活動支援のために資金・設備などをご提供いただいています。本校の教育研究の充実に重要な役割を果たしています。本校に対する寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

6 その他 競争的外部資金 件数 10 総額(単位:千円) 29,434

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(官民による若手研究者発掘支援事業)、経済産業省中小企業庁(戦略的基盤技術高度化支援事業)、(公財)精密測定技術振興財団、(公財)三五ものづくり基金、(公財)高橋産業経済研究財団、(一財)先端建設技術センター、他

1 科学研究費助成事業

科学研究費助成事業(科研費)は、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を段階に発展させることを目的とする国の競争的研究資金で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。本校では毎年10~20件程度の研究が実施されています。

研究種目	件数	総額(単位:千円)
基盤研究(B)	2	21,060
基盤研究(C)	13	16,235
若手研究	4	5,590
研究活動スタート支援	1	1,170

2 共同研究 件数 26 総額(単位:千円) 15,187

民間企業等の研究者と本校の教員が、共通のテーマについて共同で研究を行う制度です。両者のアイデア・意見を交換しながら研究を進めることにより独創的な研究成果が期待できます。

3 受託研究費 件数 4 総額(単位:千円) 2,984

民間企業・公的研究機関から委託された課題についての研究や、造形装置による試作品製作などを行っています。

外部資金等受入

令和3年度

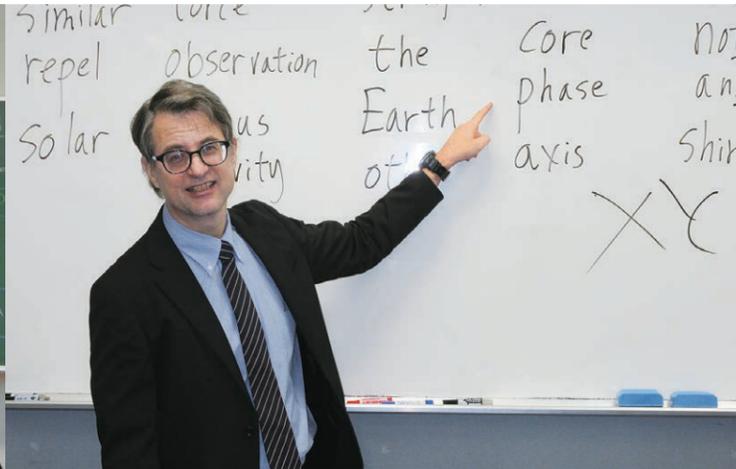
一般教育科 (全5学科共通)

一般教育科の科目は、数学・物理・化学・英語・国語・社会・体育で構成され、全学科の学生が受講しています。数学・物理といった理系科目の充実に加え、英語・社会・国語といった文系科目においても、将来に備えてTOEIC対策講座を受講できるなど、実践・実用的な講座編成が大きな特長です。

▼ 1年「基礎数学」



▼ 3年「Science English」



▼ 1年「国語総合」



▼ 4年「応用物理」



▼ 1年「体育」



▼ 2年「社会と文化から見る歴史」



Curriculum カリキュラム ※ は選択科目

こんな一般科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
	Reading, Grammar & Writing		TOEIC English	
	Oral Communication			Comprehensive English
Listening	Science English			
	国語総合			
文法表現法			文章表現法	
哲学倫理	社会と文化から見る歴史	科学技術から見る歴史	技術者のための哲学・倫理	
現代社会論			教養選択	
芸術				
健康と福祉				
	体育			
	物理			
	化学		地球・環境・省エネルギー	ライフサイエンス/バイオテクノロジー
基礎数学	線形代数		応用数学	
基礎数学演習	微積分	解析	微分方程式	
		確率統計	数学総合演習	

Field of learning 一般教育・学びのフィールド

こんなことに力を入れています

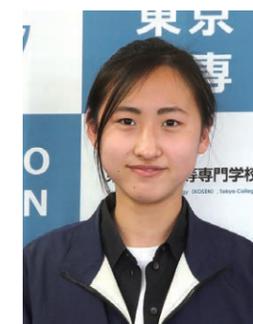


一般教育科の科目は、機械・電気・電子・情報・物質といった各専門分野で活躍するために必要な、土台作りとなる勉強・学問領域と言えます。たとえば、国際社会で活躍するエンジニア・研究者となるためには英語力が必要となりますし、また、強い心と体もこれからのエンジニアには欠かせないことから、体育も用意されています。一般教育科では、将来エンジニアを目指す受験生のみならずと共に教養を高め、深めていきたいと考えます。

第37回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会・3位受賞
(令和4年11月、長岡高专にて開催)

情報工学科 レウエティ 要さん
令和2年度入学
横浜市立緑が丘中学校出身

Voice 学生・教員の声



情報工学科 坂本 楓さん
平成31(令和元)年度入学
町田市立木曽中学校出身

基礎がしっかりした学力や「伝わる」表現力を身につけることこそ、活躍できる自分になるための第一歩。専門科目の土台にもなる一般科目を、先生方や友達と深く学べます。様々な知識に触れて、吸収して、未来の自分への貯金を増やしましょう。



数学科 小中澤 聖二 教授
(専門分野：複素関数論)

一般教育科では英語、国語、社会、体育、芸術のような教養科目と数学、理科のような専門基礎科目の授業を提供しています。本科1年生から専攻科2年生までの各学年に対して、高校レベルから大学2年程度のレベルまでの内容が効率よく学習できるように授業が組み立てられています。

Department of Mechanical Engineering

機械工学科

機械工学科では、創造性豊かな発想で機械を設計製作できる技術者の育成を目指し、以下の学習・教育目標を設定しています。

- ①機械工学に関わる基礎学力を備え、現実の問題に応用することができる。
- ②機械システムの発案から設計および製作までを行うことができる。
- ③機械工学と電子・情報工学の両者に関わる基礎学力に基づいて、メカトロニクスを体現した機械システムを設計・製作できる。

この目標を踏まえ、本学科の教育課程は、「ものづくり工学系」科目群、「機械の力学系」科目群および「メカトロニクス制御系」科目群の3本柱で構成されています。ものづくり工学系科目では、最新の3次元CAD等を利用した設計手法を学ぶとともに、その加工技術を、附属のものづくり教育センターで実践的に学びます。機械の力学系科目では、機械工学の基礎を構成する材料力学、流体力学、熱力学、機械力学等を中心とした理論の基本を学び、機械の構造および動作原理の基本を理解します。メカトロニクス制御系科目では、機械を制御する手法について学び、機械の知能化に関する基本を身につけます。

▼1年生「ものづくり基礎工学」では、基本的な工作機械の作業手順を学ぶ



▼2年生「機械工学演習」では、機械設計の基礎となる製図法を習得



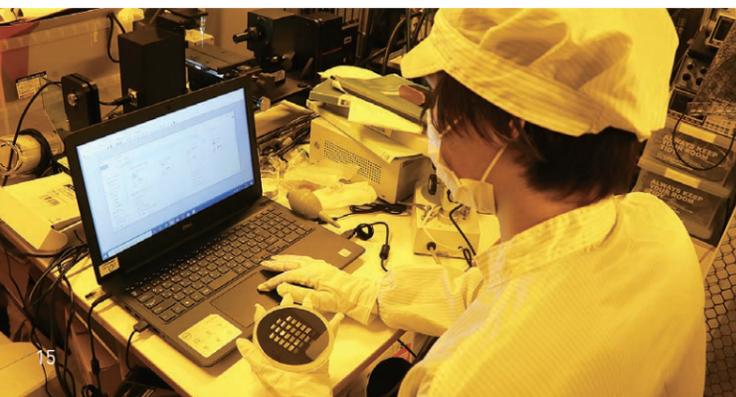
▼3年生「機械工学実験実習」では、バイク分解整備を通じて実践的技能を獲得



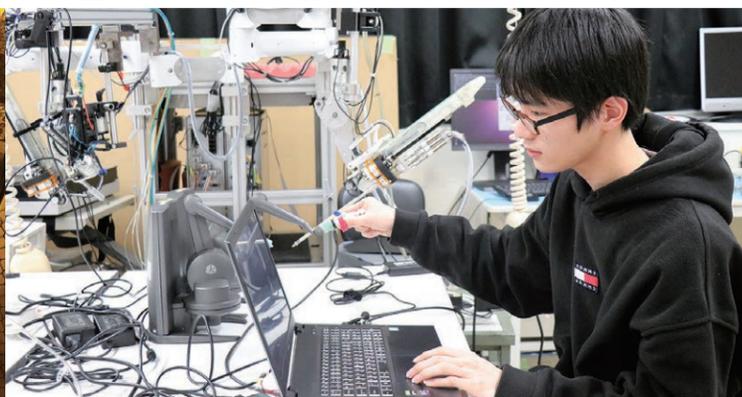
▼5年生「卒業研究」：研究で得られた成果は国内外の学会で発表



▼5年生「卒業研究」：クリーンルームでの精密微細加工を実施の様子



▼5年生「卒業研究」：遠隔操作型手術支援ロボットの制御



Curriculum カリキュラム

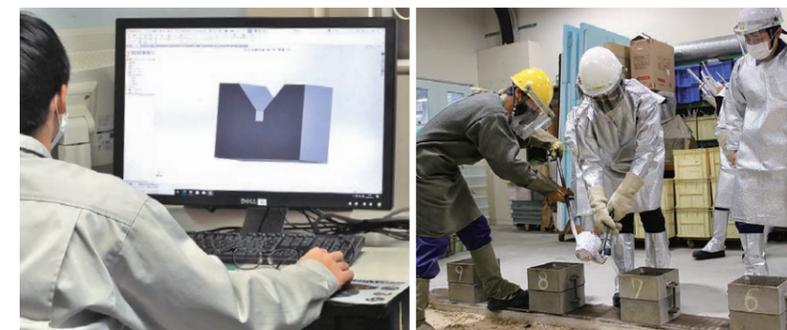
こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	機械工学展望		インターンシップ	経営工学
	材料力学		機械材料学	加工学
	機械工学基礎力学	機械設計法		CAD/CAM/CAE
			機械力学	デザイン工学
			熱力学	伝熱工学
			流体力学	
		メカトロニクス	応用物理	先端テクノロジー
			機械数学	統計リテラシー
			基礎電気工学	発電・電気エネルギー
			基礎電子工学	基礎制御工学
			通信伝送工学	計算機システム
			情報通信ネットワーク	情報処理基礎
			デジタル信号処理	コンピュータ・援用計制御
			知識情報工学	ロボット・モビリティ工学
ものづくり基礎工学		機械工学実験実習、演習		
			社会実装プロジェクト	

卒業研究

Field of learning 機械工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



機械工学やものづくりに関する知識を実践的に身につけることができるように、実習科目を2~4年次に配置しています。また、実習科目で学んだ事項について理論的な知識を補強するために、関連する講義科目を主に2年次以上に配置しています。ものづくりの動機から始まり、設計、製作、評価の過程を重視し、評価と修正を繰り返しながら合理的で最適な解を導く方法が習得できます。

Voice 学生・教員の声



榎木 貴人さん
平成30年度入学
東京都立南多摩中等教育学校 出身

車やスマートフォンなどあらゆるものは機械工学によって支えられています。機械という力学を基礎とする設計・加工技術がイメージされますが、機械エンジニアにはセンサやモータを機能的に動作させるための回路設計技術、センサの情報を処理してモータを制御するプログラミング技術など様々なスキルも必要です。これらの技術を東京高専の機械工学科では充実した設備で実践的に学ぶことができます。来たれ未来のスーパーエンジニア！



小山 幸平 准教授
(専門分野：熱流体工学)

機械工学は古くて新しい学問です。身の回りの生活に密着した製品から、ロボット、エネルギー、航空宇宙や医療など、あらゆる場面で社会を支え、今も進化を続けています。本校機械工学科では、学生1人1人が実際に手を動かし、工具や工作機械を操作してものづくりを学習する授業が多く、実践的な知識や技術を身につけることができます。ものづくりを堪能できる機械工学科で充実した高専生活を送りましょう。

電気工学科

電気エネルギーはSDGsでいわれる持続可能な社会に必要な不可欠なクリーンなエネルギー源です。電気工学科では、その電気エネルギーを「作る」、「運ぶ」、「使う」、「貯める」技術について総合的に学びます。それらは、太陽光発電や風力発電などの新エネルギー技術とスマートグリッドシステム技術、電気自動車を代表とするパワーエレクトロニクスの省エネ技術から、モータ制御技術、GPSナビゲーション通信技術や情報処理、自動運転などのAI技術、Liイオン電池や燃料電池など携帯デバイスに必要な技術などについて学びます。

授業では、電気回路、電子回路、電磁気などの専門基礎技術を重視し、講義と実験・演習とを組み合わせることで体験的に身につけることができます。また、高学年では各専門性を深めるために、情報処理、通信、制御、電力、電子物性、半導体など科目を配置し、応用技術を学ぶことができます。さらに、5年生では学んだ専門知識を組み合わせ、新しい価値を生み出すシステム開発能力を養うために、卒業研究に取り組み研究開発能力を身につけます。このように、電気工学科では電気電子分野の総合学科という特徴から、就職・進学先は幅広く、様々な分野でグローバルに活躍する人材を育てています。

▼電気工事士の体験実験(2年生)



▼AIによる画像認識に関する実験(3年生)



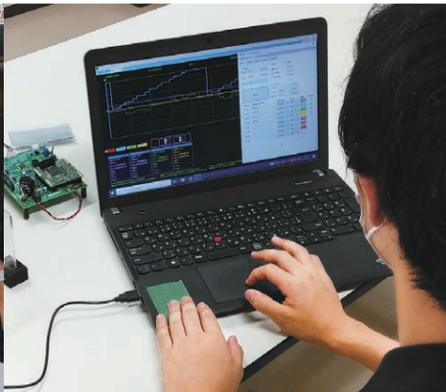
▼ライトレースロボットの実験(3年生)



▼マイコン制御実験(4年生)



▼小型発電機制御技術の研究(卒業研究)



▼MEMSセンサに関する実験(卒業研究)



Curriculum カリキュラム

こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	電気電子工学展望		インターンシップ	経営工学
			応用物理	統計リテラシー
	電気回路		電気数学	先端テクノロジー
			電気回路	発電・電気エネルギー
		電磁気学	電子回路	電力システム
	デジタル回路		電気電子計測	電気機器
				通信伝送工学
	プログラミング言語		情報通信ネットワーク	計算機システム
			デジタル信号処理	情報処理基礎
			知識情報工学	
			制御工学	ロボット・モビリティ工学
			電子物性工学	先端エレクトロニクス
			半導体デバイス	生体材料工学
			環境・エネルギー工学	
ものづくり基礎工学		電気電子工学実験		
			社会実装プロジェクト	

卒業研究

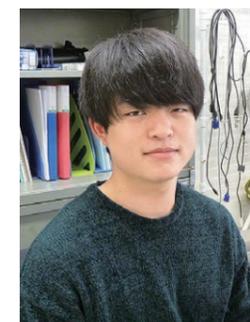
Field of learning 電気工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



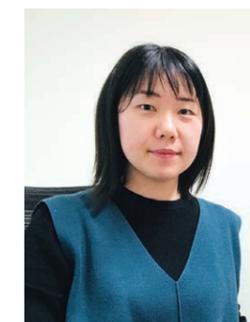
電気系資格の登竜門である「第二種電気工事士」の資格取得講座を開講しています。電気系基礎科目である電気回路や電磁気学の学力向上も図れるとともに、資格保有者に行えない電気工事ができるため、就職の際にも強いアドバンテージになります。合格した上級生が下級生を教えるなどの学生相互の学び合いがなされ、学習へのモチベーションアップにもつながっています。実技試験の工具と材料等は学科で準備しております。

Voice 学生・教員の声



川原 雅明さん
平成31(令和元)年度入学
小平市立小平第五中学校出身

電気工学科では電気回路や電磁気学はもちろんのこと、プログラミングなどの幅広い分野を学ぶことができます。様々な視点で物事を考えられる能力が身につきます。授業で学習したことは、実験を通してさらに理解を深めることができます。また、実験ではグループで計画を立てて進めるものがあり、社会に出たときに必要な計画性や協調性、自主性といったスキルを身につけることができます。



武田 美咲 講師
(専門分野：生体運動制御)

電気工学科は、電気系知識を習得するのはもちろんのこと、人としての成長およびエンジニアとしての資質の養成にも重点を置いています。学科には、博士号を有する経験豊富な教員陣、電気系資格取得に向けたサポート体制、卓上彫刻機や3Dプリンタなどのものづくり設備が整っており、充実した環境でのびのびと学ぶことができます。

電子工学科

家電、スマホ、ゲーム、バイクや車、医療機器など、私たちの身の回りには電子デバイスやこれらをインターネットでつなげた電子システムがあふれています。電子工学科は、私たちの生活をより豊かにするための電子システムを開発する知識と技術を学べる学科です。

電子工学科の教育の特色は実験実習や製作課題によって回路・計測技術、プログラミング等を実践的に身につけます。社会実装プロジェクトや卒業研究において答えのない課題に取り組み、議論や発表の機会を通じて課題解決能力とコミュニケーション能力を養います。電子工学を基礎として社会のあらゆる場面で活躍できる実践力と主体性を身につけた技術者の育成を目指しています。



Interview

先輩に聞いてみよう！

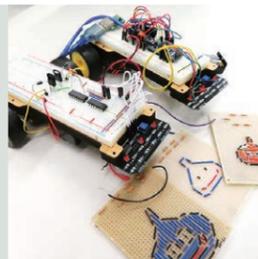
Q
選んだ理由

- 電子工学は世の中のほぼ総てに関わっているから。
- 電気回路からAI、半導体など幅広い分野を学べるから。
- 将来の選択肢が広いから。
- 先輩との相談や、学科見学の際の研究内容。



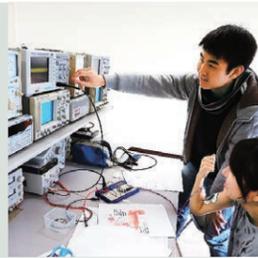
Q
学べたこと

- 電気電子の基礎、ハードウェアとソフトウェアの両立。
- レポート作成に必要な情報のまとめ方、伝え方。
- 実験を通じた、回路の構成や役割に対する深い理解。
- 期限を守る大切さ、挨拶の大事さ、自主的に調べること。



Q
良かったこと

- 理論や構造に基づいて回路などを作る力が身についたこと。
- 友達と協力して成し遂げる経験ができたこと。
- 先生方が親身にサポートしてくれたこと。
- 学習やものづくりに必要な環境が整っていること。



Curriculum カリキュラム

こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	電気電子工学展望		インターンシップ	経営工学
			応用物理	統計リテラシー
			電気数学	先端テクノロジー
		電気回路		発電・電気エネルギー
		電磁気学		電気機器
	デジタル回路	電子回路	プログラミング応用	計算機システム
	プログラミング言語	電気電子計測	通信伝送工学	情報処理基礎
			情報通信ネットワーク	基礎制御工学
			デジタル信号処理	ロボット・モビリティ工学
			知識情報工学	生体材料工学
			電子物性工学	ワイヤレスシステム
			先端電子デバイス	電気関係法令
			環境・エネルギー工学	
ものづくり基礎工学		電気電子工学実験		
			社会実装プロジェクト	

卒業研究

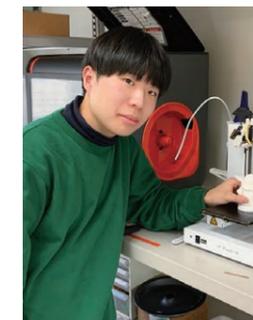
Field of learning 電子工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



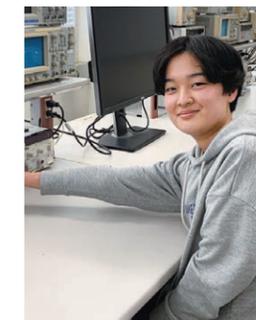
電子工学科では、社会人基礎力としても重要なコミュニケーションスキルと報告書作成スキルの定着に力を入れています。学生実験では、実験担当教員と実験結果について1対1で討論を行い、実験目的を理解します。そして報告書は、指摘箇所があれば、再度、議論を繰り返しながら完成させていきます。学年進行でこの工程を繰り返すため、無理なく学生自身がスキルアップを実感することができます。

Voice 学生の声



加藤 柊太さん
令和元年度入学
志木市立志木第二中学校出身

電子工学科では、半導体、マイコン、電波、それだけでなくプログラミングも学びます。今はスマホで検索をすれば見よう見まねのものづくりはできるでしょう。しかし、電子工学科で理論から丁寧に学ぶことで、自分で回路を組むことができるようになります。さらに3Dプリンタやレーザー加工機、各種計測器を活用して、より高度なものづくりができます。



野口 紅葉さん
令和元年度入学
共立女子中学校出身

2年生から4年生は、週に1回実験があります。実験を行うことで、授業で学習した内容を復習でき、更には座学では学ぶことのできない測定機器の使い方や、電子部品の使い方を習得できました。また、実験後にレポートを書くことで、高専を卒業した後も必要な「書く力」を身につけることができました。

情報工学科

現代は、高度情報化社会の時代です。情報工学分野の技術はコンピュータ・通信ネットワークにとどまらず、今や産業界や日常生活のあらゆる分野に浸透しています。データ探索、システム制御、医療・福祉、娯楽など、その応用分野もきわめて広がっています。近年では、組み込みシステム開発などの分野においては、通信技術・制御技術などの融合により、高度な技術を構築するために、数多くの優秀な技術者が求められています。

目覚ましく技術革新が続く時代であって、将来の技術革新にも対応でき、社会をリードできる人材を育てるため、本学科では、以下に示す3つを教育理念として掲げております。

- (1)基礎学力と学ぶ力を身につけた技術者
- (2)人間力があり、規律正しい技術者
- (3)ものづくりの知恵を身につけた技術者

授業は座学のみならず、実験・演習を重視し、その過程で想像力やコミュニケーション能力など、技術者・社会人として必要な能力を身につけることを意識した教育を行っています。

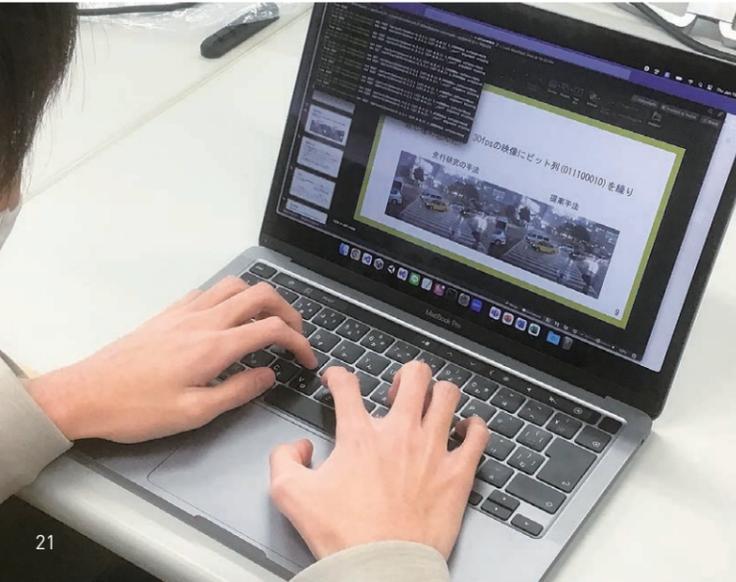
▼情報工学科の実験室風景(3年生)



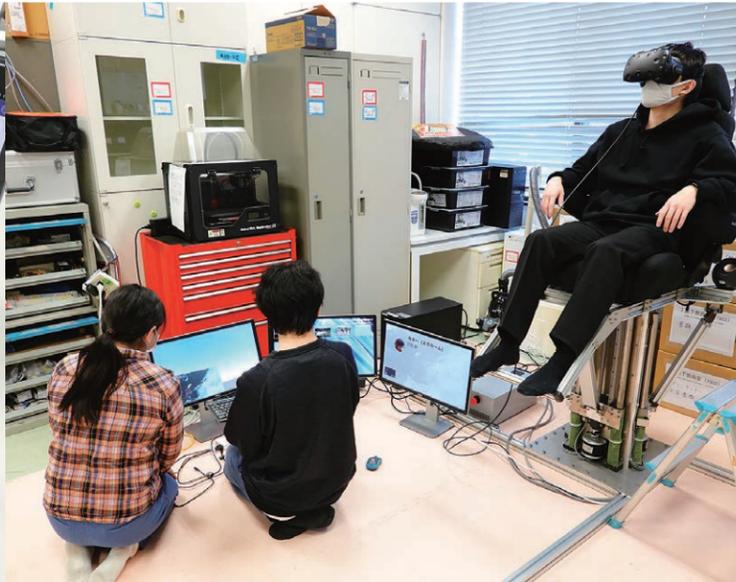
▼知識情報研究室



▼情報通信研究室



▼制御情報研究室



Curriculum カリキュラム

こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	論理回路		インターンシップ	経営工学
	情報工学概論	計算機工学	応用物理	
	プログラミング言語	アルゴリズムとデータ構造	コンピュータシステム	
	情報数学		システムプログラミング	情報処理特論
			実践プログラミング	情報理論
			通信伝送工学	
			情報通信ネットワーク	先端テクノロジー
			メディア信号処理	コンピュータ援用計測制御
			IoTシステム工学	ロボット・モビリティ工学
			画像認識工学	計算機システム
			データマイニング	統計リテラシー
			知識情報工学	情報処理基礎
			デジタル信号処理	基礎制御工学
			基礎電気工学	発電・電気エネルギー
			基礎電子工学	生体材料工学
			環境・エネルギー工学	
ものづくり基礎工学	情報工学科実験実習		社会実装プロジェクト	
	ものづくり実践工学			

卒業研究

Field of learning 情報工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



情報工学科は、今後の高度情報化社会において将来を担う技術者を育成しています。特にITを中心としたものづくり力を身につける取り組みに力を入れており、例えば全学的な選択科目「ものづくり実践工学(組み込みマイスター)」という授業では、1年を通じ前半はものづくりのための勉強、後半はチームを作りアイデア溢れる製作活動を行います。情報工学科の先生たちが主となり指導に当たっており、近年ではYahoo!とコラボレーションし、技術者を交えたものづくりも行っています。この取り組みに関係した学生さんたちは、高専プロコン等の種々のコンテストでも活躍しており、内閣総理大臣賞や文部科学大臣賞等多くの優秀な成績をおさめ活躍しています。みなさんも一緒にものづくりにチャレンジしてみませんか。

Voice 学生・教員の声



永谷 凛太郎 さん
令和2年度入学
多摩市立聖ヶ丘中学校出身

情報工学科では、プログラムに加えて電子回路を学びます。プログラムは基礎の習得から始まり、暗号やAIなどの情報化社会を支える技術にまで発展します。電子回路はコンピュータの内部動作の学習を通じて、プログラムの理解に繋がります。またセンサーや制御といった、現実世界との入出力にも発展します。こういった知識を、座学と実験の両輪で学びます。特に実験はチームで取り組むことで、気付きや視点を仲間と共有する機会に溢れています。



山下 晃弘 准教授
(専門分野: 組み込みシステム開発)

パソコンやスマホだけではなく、車やデジカメなど、コンピュータは様々な機器に利用されています。最近ではAIやVRといった技術も注目されていますが、これらは最新のコンピュータとIT技術によって実現されています。情報工学科では、コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェア、またそれらを接続する通信技術の基本的な仕組みをしっかり学ぶことができます。あなたも最先端技術を使いこなすITエンジニアを目指してみませんか？

物質工学科

科学技術の進歩において化学(物質工学)の担う役割は大変重要です。バイオテクノロジーおよび環境・エネルギー問題、新規材料開発は言うまでもなく、ナノテクノロジーやIT分野においても化学の力は必要不可欠です。身近なもので地球温暖化からスマートフォン、ヘルスケアなどにも化学の力がキーテクノロジーとなっています。化学は新たな技術の創出を可能とし、技術立国(ものづくりを含む)の再生に欠かせません。

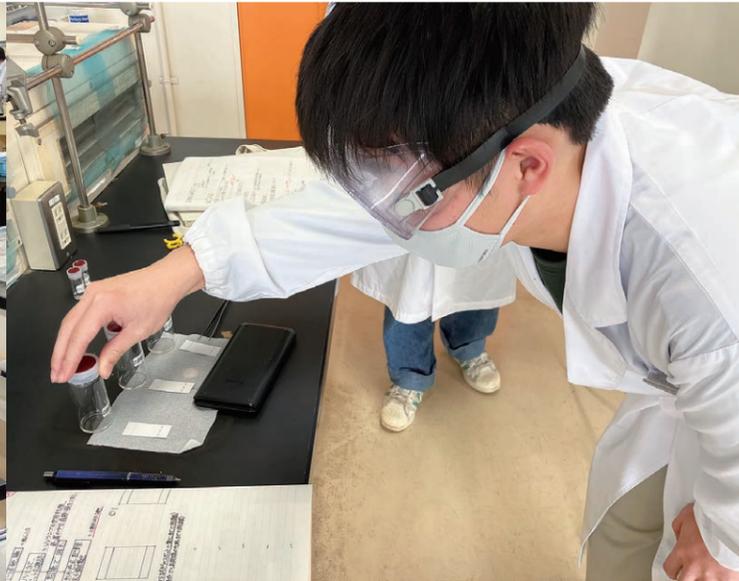
このような状況のもと、物質工学科では次の学習目標を掲げ、教育を行っています。

- ①基礎学力および应用能力を身につける。
- ②優れた実験技術を身につける。
- ③技術者の責任や技術者倫理を自覚できる。
- ④数学、物理学、情報技術に関する知識を身につけ、それらを応用できる。
- ⑤論理的な思考、記述、発表、コミュニケーション能力を身につける。
- ⑥最先端の研究に触れ、グローバルな視野を身につける。

▼ダニエル電池による起電力と活量計数の測定



▼薄層クロマトグラフィーによる分離



▼天秤をつかって正確に硫酸銅をはかりとる



▼3年生後期の物質工学実験の様子



Curriculum カリキュラム

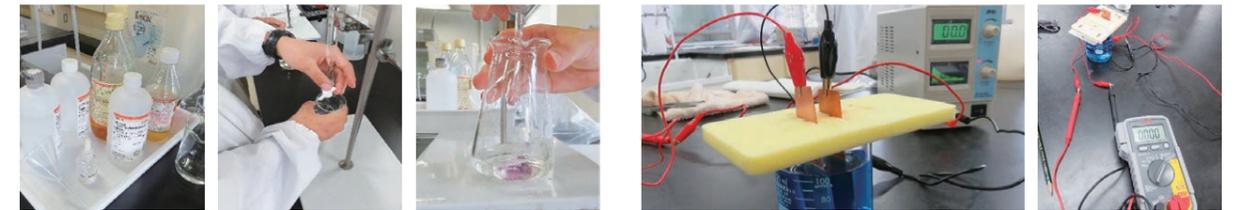
こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	物質工学展望 情報処理演習		インターンシップ 応用物理	経営工学 先端テクノロジー 統計リテラシー 高分子化学
			有機化学	
	分析化学 無機化学		工業化学	化学工学 物理化学
		物理化学	環境・エネルギー工学	生体材料工学
	基礎生物		生物化学	卒業研究
			基礎電気工学 基礎電子工学 通信伝送工学 情報通信ネットワーク デジタル信号処理 知識情報工学	基礎制御工学 発電・電気エネルギー 計算機システム 情報処理基礎 コンピュータ援用計測制御 ロボット・モビリティ工学
ものづくり基礎工学	物質工学基礎実験	物質工学実験 物質工学創造実験		社会実装プロジェクト

Field of learning 物質工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています

材料・バイオ・環境の三本柱からなる物質工学科では化学のみならず他の関連する学問分野も幅広く勉強します。3年生までは化学を主体に生物学、物理学、コンピューター等の基礎を学び、また、実験、実習を行います。4年生後期からは卒業研究に打ち込みます。



【実験】中和反応を利用して濃度を求める

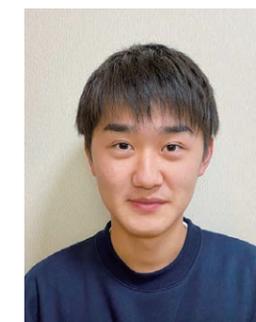
【実験】硫酸銅水溶液の電気分解(銅めっき)

Voice 学生の声



浅井 美穂さん
令和3年度入学
世田谷区立站南中学校出身

物質工学科では実験や授業を通じて、化学の専門的な知識を身につけることができます。時には専門的な学習は難しいと感じることもありますが、授業で出される課題、実験、毎日の自学習にしっかりと取り組んでいれば心配りありません。化学についての知識が増えるほど、ますます化学が身近に感じられ、楽しくなります。



岩崎 楓馬さん
令和2年度入学
相模原市立北相中学校出身

物質工学科は、工業学科の中でも有機化学・生物などといった化学分野の専門的知識を学ぶことができる学科です。実験では、様々な実験手法を学ぶことができます。また、実験は同級生と協力して取り組むことが多いため、分からない箇所があっても共に考え教え合うことで、より理解を深めることができます。時には難しい授業などもありますが、部活動と両立しながら自分の興味のある分野をほとんど学ぶことができるため、とても楽しいです。

Advanced Course

専攻科

本校の専攻科には機械情報システム工学専攻、電気電子工学専攻、物質工学専攻の3専攻があります。それぞれで本科の卒業研究をさらに深く探求する特別研究を实践し、広く国内外の学会で成果を発表しています。特例適用専攻科の認定を受けており、対象者は大学改革支援・学位授与機構から専攻毎に一括した申請・審査を経て学位が授与されます。1年後期には個別最大化の学びの期間が設けられ、個々のキャリアデザインを考えながら社会実装・創造研究・グローバルの各活動を組み合わせたプロジェクトを進めます。

Voice 学生の声



機械情報システム工学専攻
西本 葵 さん

専門とする分野を超えて横断的な取り組みに挑戦できる機会が用意され、貴重な経験を積めると感じたため専攻科を志望しました。特別研究では採血ロボットの開発を行っており、本科で学んだことをもとに新たな知識や技術を身につけて研究を進展させています。また他専攻の学生や先生と協働する活動やグローバル活動が授業に組み込まれ、広い視野を養うことができ、今後のキャリアパスを考える上で非常に良い刺激となります。

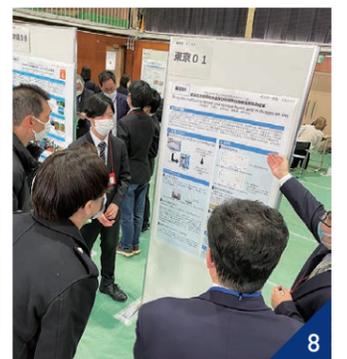
CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

年間行事

- 4月 入学式 ①
新入生オリエンテーション
学生集会
- 5月 学生総会
- 6月 前期中間試験
- 7月 夏季休業
インターンシップ(4年)※
関東信越地区高専体育大会
- 8月 全国高専体育大会
関東信越地区高専文化発表会
- 9月 前期末試験
研修旅行(3年) ②
体育祭 ③
- 10月 ロボコン関東甲信越地区大会
プログラミングコンテスト本選 ④
くぬぎだ祭(文化祭) ⑤
学生集会
- 11月 チャレンジウォーク ⑥
後期中間試験
- 12月 ロボコン全国大会 ⑦
冬季休業
- 1月 推薦入試
- 2月 学年末試験
学力入試
卒業研究発表会
- 3月 社会実装教育フォーラム ⑧
冬季学校(2年) ⑨
卒業式 ⑩
学年末休業

※インターンシップ参加実績:186名(令和4年度)



▼研究室のゼミナール



▼フィンランド メトロポリア応用科学大学にて自国文化をプレゼンテーション



▼国際学会における英語での口頭発表



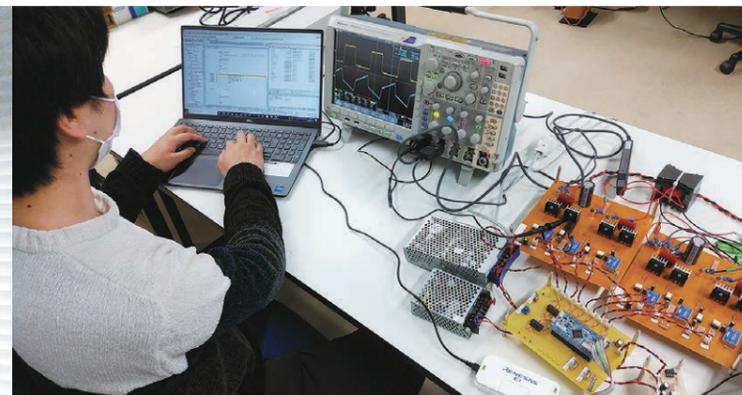
▼つくばチャレンジでの自律移動ロボット走行実験



▼NMRによる新しい有機化合物の構造解析



▼自作した実験装置を用いて研究を推進



東京高専生 の1日

A Day in the Life of a Kosen Student

東京高専生の時間割 ～あるクラスの場合～

■ 人文系科目 ■ 自然系科目 ■ 専門科目

時限	授業時間帯
ホームルーム (1年生のみ)	8:40～8:50
1限 2限	8:50～10:20
休憩	10分
3限 4限	10:30～12:00
昼休憩	50分
5限 6限	12:50～14:20
休憩	10分
7限 8限	14:30～16:00

	月	火	水	木	金	
1年生のクラス(一例)	1限	Oral Communication I	物理 II	基礎数学 II	国語総合 II	文章表現法 I
	2限					
	3限	化学 II	芸術	Reading II	基礎数学 II	ものづくり 基礎工学
	4限					
	5限	基礎数学 II 演習	体育 I	Grammar & Writing II	現代社会論	
	6限					
	7限	ホームルーム				
	8限					

	月	火	水	木	金	
4年生のクラス(一例)	1限	基礎電子工学 ※	機械工学演習 VI	情報通信 ネットワーク※	技術者のための 哲学・倫理	地球・環境・ 省エネルギー
	2限					
	3限	応用数学	TOEIC English II	環境・ エネルギー工学※	機械数学	体育 IV
	4限					
	5限	機械工学 実験実習 IV	社会実装 プロジェクト II	知能情報工学※	機械材料学	Advanced TOEIC English※
	6限					
	7限			中国語※	数学総合演習※	
	8限					

※ 選択科目

授業 PICK UP ものづくり基礎工学

第1学年で開講されている「ものづくり基礎工学」は、5つの専門学科の基礎実験を、1年間かけて幅広く体験的に学習する科目です。1回あたり約4時間の基礎実験を各学科5回ずつ行うので、それぞれの分野の基礎を幅広く学ぶことによって、各学科の違いや特色も知ることができます。本科目で学んだ内容は、2年進級時の学科選択時の判断材料としても、とても役に立ちます。



1年生の声!

ものづくり基礎工学では、5学科の学習内容に関する基礎的な実験を1年生で体験でき、学科選びの参考になるのはもちろん、新たな学びや興味分野の発見がたくさんあります。私は入学時、特別な知識はありませんでしたが、専門知識を持った先生方に教わり、普段は触れられないような機械や装置を扱うことができたため、貴重な経験になりました。また授業を通して、プログラミングや回路の考え方を一から理解することができました。

乙成花楓さん
令和4年度入学
足立区立西新井中学校出身



8:40～8:50

登校後、1年生はショートホームルーム。
(寮生は寮食堂で朝食後に登校)



10:30～12:00

3・4限 体育



12:50～14:20

5・6限 Oral Communication



20:00～ 自習時間

21:00 点呼、のち就寝



8:50～10:20

1・2限 基礎数学



12:00～12:50

昼休み 学生食堂で昼食(寮生は寮食堂で昼食。)



14:20～

放課後 部活動



18:00～ 寮食堂で夕食

寮生

寮生

2

1

3

4

6

5

寮生

寮生

7

8

課外活動

Extracurricular Activities

約6割の学生が部・同好会のほか、高専コンテスト系のゼミ等に所属し、各種体育大会、文化祭、文化発表会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト等に参加する等、活発に活動しています。



体育系部	陸上競技部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、ハンドボール部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、テニス部、ソフトテニス部、柔道部、剣道部
文化系部	写真部、吹奏楽部、軽音楽部、茶道・華道部、自動車部、科学部、将棋部、ジャグリング部
同好会	ESS同好会、手話同好会、女子バスケットボール同好会、フットサル同好会、器楽・合唱同好会、演劇同好会、ダンス同好会、クライミング同好会、農林同好会、数学同好会
高専コンテスト系ゼミ	ロボットコンテストゼミ、プログラミングコンテストゼミ、環境ゼミ



ハンドボール部



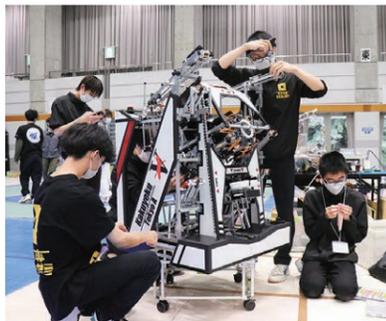
バスケットボール部



吹奏楽部



ダンス同好会



ロボコンゼミ



プロコンゼミ



写真部 (表紙、校長他冊子内一部写真協力)

令和4年度の主な成績

ロボコンゼミ

第35回全国高等専門学校ロボットコンテスト
関東甲信越地区大会
準優勝Bチーム「∞∞∞(トリニティ)」

プロコンゼミ

第33回全国高等専門学校プログラミングコンテスト
[課題部門] 敢闘賞
[自由部門] 最優秀・文部科学大臣賞、特別賞
[国際大会自由部門] Grand Prize
[その他] NSD企業賞

ハンドボール部

令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会
ハンドボール競技 1位

テニス部

令和4年度全国高等専門学校体育大会テニス競技
[男子団体] 3位
令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会テニス競技
[男子団体] 1位 [男子シングルス] 1位

水泳部

令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技
[女子100m背泳ぎ] 1位 [女子100m平泳ぎ] 1位

くぬぎだ寮 の紹介

KUNUGIDA DORMITORY



本校の学生寮(くぬぎだ寮)には第2寄宿舍、第3寄宿舍、国際寮、食堂棟の4棟があり、約160名の学生が生活をともにしています。寮の南側には校庭、北側には裏山があり、野鳥も多く生息し、自然豊かで静かな環境で過ごすことができます。

各棟居室には机、椅子、ベッド等が備え付けられています。お風呂、シャワー、トイレ、洗濯機は共有です。また、フロアごとにテレビやソファ、キッチンなどが備え付けられた共有スペースが設けられており、学科や学年を越えた交流ができます。海外からの留学生も寮で生活しています。

くぬぎだ寮は共同生活の場であり、共に生活する仲間への配慮や自律した生活が求められます。そのため、寮には守るべき規則がたくさん定められています。寮生の規律ある生活をサポートするために寮事務室があり、1年生および各学科に寮担当の教員が配置されています。また、夜は教員や外部委託の警備員が交代で舎監業務を行い宿泊するほか、夕方からの一定時間は寮生の生活指導のため寄宿舍指導員も置いています。

なお、夏休みや春休みなどの長期休業期間は閉寮し利用できません。また、感染症などに罹患した場合、他の寮生の安全のため一時帰宅をお願いしています。このような寮を利用できない期間、保護者の方には責任をもって学生を保護していただく必要があります。



寮生活にかかる費用

(※年度によって変わる場合があります。)

1. 部屋代(施設使用に関わる料金)※2人部屋の場合は年間8,400円
月当たり800円(年間9,600円)
2. 寮費(光熱費、下水道費用など)
年額約80,000円
3. 食事代(食堂・1日3食)
年額約410,000円
4. エアコンリース・電気代
年額38,800円
5. 寮生会費(寮生の自主活動のための費用)
年額2,500円

年額約540,000円

寮食メニュー！
寮食のメニューの一例を
紹介します。夕食は、たとえ
ば、肉料理か魚料理の2種類
のメニューから好きな方を選
べることが多いです。



昼食 ビーフカレー



夕食 豚肉と玉子の照煮



夕食 あじの黒胡麻パン粉焼き

寮生の声 — くぬぎだ寮・寮生活を送ってみて —

自分が寮に入って変わったところは自律ができるようになったということです。家とは違い洗濯物や共用部の掃除、朝の起床まですべて自分で管理をしなければいけません。その生活を高専に入学するという早いタイミングで始めることはその後の一人暮らしをする際のいい経験となると思っています。また5学年が在籍しているため歳の離れた先輩との交流が多く新しい学びや発見をすることも多くあります。寮は学校と違い寝食を共にするため友人との距離感が縮まります。みなさんもぜひくぬぎだ寮で気が合う仲間を探してみませんか？

機械工学科 松尾 大祐 さん
平成31年度(令和元年度)入学
台東区立桜橋中学校出身



正直に言うと、寮生活を面倒臭いと感じるときもあります。ルールが多いし、周りの人に気を遣うからです。ですが、くぬぎだ寮は、それでも居続けたいと思えるような場所です。特に私は友達と一緒にテレビを見たり、買い物に行ったりする時間が好きです。くだらないかも知れませんが、毎日こういうことができるのは、寮生の特権だと思っています。協調性とか、自律とか、勉強になることもたくさんありますが、何より、近くに大好きな友達がいること、そんな友達ができることが、寮生活における最大のメリットだと思います。あと、私みたいな優しい先輩もいますね。

物質工学科 武内 遥夏 さん
令和2年度入学
銚子市立銚子中学校出身



国際交流

International Exchange

本校では、海外の大学等の教育機関との交流協定締結による教員や学生の相互交流の実施、外国人留学生や外国人研究者及び外国からの訪問者の受け入れ等、多彩な国際交流を活発に行っています。



海外インターンシップ マレーシア、ベトナム、オーストラリア等の企業・大学にインターンシップ生を派遣しています。

留学生の受入



マレーシア、モンゴル、インドネシア等、様々な国籍の留学生を受け入れ、7名程度が在籍しています。

令和2年～令和4年度の東京高専の外国人留学生数

出身国	令和2年度	令和3年度	令和4年度
マレーシア	3	2	1
ブラジル	1	1	1
インドネシア	0	1	2
ラオス	1	1	0
モンゴル	1	0	1(1)
韓国	1	1	1
ベトナム	1	1	1
合計	8	7	7(1)

()女子留学生

フィンランドのMUASとの交流



本校では2000年以来、フィンランドのMetropolia University of Applied Sciences(MUAS)と学術交流を行っています。本校の学生はMUASで約5ヶ月間、MUASの学生は本校で約6ヶ月間の研修を行います。

海外派遣プログラム

本科生を対象にして、民間の国際教育交流団体の年間派遣プログラムを積極的に紹介しています。派遣された学生は派遣国のホストファミリーと生活しながら、地域の高校に通学し、文化・社会への理解を深めることになります。



ホームステイ・現地高校との交流



オーストラリア国際交流事業

海外留学・研修プログラム実績

「トビタテ! 留学JAPAN」プログラム(文部科学省)、AFSやYFUの年間派遣プログラム(国際教育交流団体)、短期海外研修プログラム(高専機構、東京高専)等に学生を派遣しています。

留学先国名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
米国	1(3年生)		1(3年生)	2(3年生) ^{※3}
カナダ	2(2・3年生)		1(3年生) ^{※2}	
オーストラリア	1(専攻科1年生)			2(1年生,専攻科1年生) ^{※2}
タイ				1(1年生) ^{※2}
フィリピン				1(4年生) ^{※2}
中国	1(4年生)			
マレーシア				
インドネシア	1(3年生)			
パラグアイ	1(3年生)			
ベルギー				1(3年生)
イタリア				2(3年生)
マルタ		1(4年生)		1(3年生) ^{※2}
合計	7名	1名 ^{※1}	2名 ^{※1}	10名

※1 令和2年度、3年度はコロナウイルス感染拡大の影響により渡航者数が減少。
 ※2 1か月未満の短期プログラムに参加
 ※3 うち1名は1か月未満の短期プログラムに参加

東京高専Q&A

Q 高専の入学試験問題は難しいのですか。

A 全国の国立高専の入学試験は、統一試験です。試験問題は、中学校学習指導要領に基づいて作られており、基礎学力・思考力を重視したもので、中学校で学ぶ学習内容を理解すれば十分に解ける問題です。

Q 過去問はどこで見られますか。

A 過去の入試問題は、下記の「国立高等専門学校機構」ホームページから入手可能です。また、「声の教育社」、「東京学参」等の出版社からも販売されています。

国立高等専門学校機構ホームページ https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/kosen_navi.html



Q 女子学生は何人くらいいますか。

A 近年は200名前後(学生全体の約20%)で推移しています。

Q どの地域から通学している学生が多いですか。

A 通学生の分布は、八王子市が一番多く、次いで相模原市、横浜市、日野市、府中市、多摩市、調布市など、JR中央線・横浜線や京王線沿線地域が多くなっています。また、東京23区、神奈川県、埼玉県、山梨県などの広い範囲から通学している学生もいます。

Q 近くに高専がありません。遠い場所からでも東京高専は受験できますか。

A 東京高専には学生寮(定員201名:男子159名、女子42名)があり、一定の条件を満たせば入寮できます。寮では、先輩寮生の学習支援があり、勉強をする環境も整っています。なお、部屋代や食事代等で年間約54万円の経費が必要です。

Q 卒業後の進路を教えてください。

A 就職と進学は割合は、学年のおおよそ半々くらいです。就職先は日本全国に支社のある大手企業から地域密着型の地元企業まで多種多様です。毎年、1,700社近くの企業から求人依頼があり、求人倍率は20倍程度となります。進学は、国立大学を中心に多くの学生が編入学をしています。また、本校専攻科には毎年20名程度が進学しています。

学費について ※令和4年度実績

毎年度に必要な経費
(就学支援金が支給されない場合)

約**26万6千円**

内訳	授業料	234,600円	学生会費	6,000円
	後援会費	24,200円	日本スポーツ振興センター掛金	1,550円

入学時にはこの他に入学料84,600円、後援会入会費11,000円、学生会入会金3,000円が必要になります。教科書・教材費は学年によりますが年間5~6万円程度です。

学費支援制度について

高等専門学校での学費支援制度としては、主に以下の3つがあります。

①高等学校等就学支援金

1~3年生は、公立高校や私立高校と同様に高等学校等就学支援金制度の対象となります。この制度は、家計状況に応じて国から支援を受けることができる制度で、支給額は授業料と相殺され、最大で授業料全額に相当する額が支給される場合があります(返済の義務はありません)。

②高等教育の修学支援制度

4年生以上を対象として、家計状況に応じて授業料の減免及び給付奨学金を受けることが可能で、最大で授業料全額が免除される制度です。成績や家計状況などの条件を満たした学生が対象となります。

③奨学金

高専では、日本学生支援機構をはじめ、各種奨学金の募集があります。多くは返済の義務がある奨学金となりますが、中には返済不要の奨学金もあります。詳しくは学生課までお問い合わせください。

各種データ

学生数 令和5年4月1日現在 ()内は女子数

各学科定員及び現員

学科	学年定員	1年	2年	3年	4年	5年	現員合計
機械工学科	40	44 (8)	48 (11)	43 (7)	38 (5)	42 (4)	215 (35)
電気工学科	40	45 (10)	40 (9)	45 (8)	42 (9)	44 (4)	216 (40)
電子工学科	40	44 (9)	38 (10)	29 (7)	40 (6)	33 (9)	184 (41)
情報工学科	40	44 (8)	44 (6)	42 (9)	41 (1)	42 (4)	213 (28)
物質工学科	40	42 (11)	43 (17)	44 (13)	36 (12)	33 (13)	198 (66)
合計	200	219 (46)	213 (53)	203 (44)	197 (33)	194 (34)	1,026 (210)

専攻科定員及び現員

専攻	学年定員	1年	2年	現員合計
機械情報システム工学	8	10 (0)	10 (2)	20 (2)
電気電子工学	8	9 (0)	8 (1)	17 (1)
物質工学	4	5 (3)	5 (2)	10 (5)
合計	20	24 (3)	23 (5)	47 (8)

本科入学生の出身(出身学校所在地)別学生数(編入学含む)

出身地	東京都	神奈川県	埼玉県	山梨県	千葉県	その他道府県	海外	外国人留学生	合計
人数	110	57	22	4	6	7	1	3	210
割合	52.4%	27.1%	10.5%	1.9%	2.9%	3.3%	0.5%	1.4%	—

本科入学志願者倍率

学科	年度	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
機械工学科		2.8	1.5	1.4	1.3	1.8
電気工学科		1.0	1.5	1.2	1.0	1.1
電子工学科		1.9	2.4	1.2	1.0	1.5
情報工学科		3.3	2.8	2.8	3.3	2.8
物質工学科		1.8	2.1	1.8	1.6	1.8
平均		2.1	2.1	1.7	1.6	1.8

卒業後の進路 令和5年4月1日現在

令和4年度(令和5年3月卒業)本科進路状況(求人倍率約20倍、大学への編入学・専攻科への進学合わせて87名)

学科	項目	卒業者数 ※		就職									進学者数			その他			
				就職希望者数			就職者数			求人 会社数	求人 総数	求人 倍率							
				計	男	女	計	男	女										
機械工学科	計	45	41	4	20	17	3	19	16	3	395	457	22.9	25	24	1	1	1	0
電気工学科	計	36	31	5	24	20	4	23	19	4	398	467	19.5	11	10	1	2	2	0
電子工学科	計	37	36	1	18	17	1	18	17	1	375	421	23.4	17	17	0	2	2	0
情報工学科	計	41	31	10	22	15	7	20	15	5	364	416	18.9	19	15	4	2	1	1
物質工学科	計	32	22	10	15	11	4	15	11	4	228	260	17.3	15	9	6	2	2	0
合計	計	191	161	30	99	80	19	95	78	17	1,760	2,021	20.4	87	75	12	9	8	1

※ 休学者は含まない

令和4年度(令和5年3月修了)専攻科進路状況

専攻	項目	修了者数			就職									進学者数			その他		
					就職希望者数			就職者数			求人 会社数	求人 総数	求人 倍率						
					計	男	女	計	男	女									
機械情報システム工学	計	12	10	2	10	8	2	10	8	2	410	459	45.9	2	2	0	0	0	0
電気電子工学	計	9	7	2	3	3	0	3	3	0	378	413	137.7	6	4	2	0	0	0
物質工学	計	4	3	1	1	1	0	1	1	0	286	302	302.0	3	2	1	0	0	0
合計	計	25	20	5	14	12	2	14	12	2	1,074	1,174	83.9	11	8	3	0	0	0

令和4年度 本科就職先一覧

【機械工学科】

(株)IHインフラ建設
アキム(株)
(株)アブリカ
宇部工業(株)
(株)MBM
(株)J-POWERハイテック
住友電気工業(株)
電源開発(株)
東京エレクトロン(株)
トヨタ自動車(株)
日本分光(株)
日立造船(株)
フォスター電機(株)
富士フィルム
ビジネスエキスパート(株)
本田技研工業(株)
マイクロテック・ラボラトリー(株)
三菱プレジジョン(株)

【電気工学科】

アイフォーコム(株)
旭化成(株)
アマゾンジャパン合同会社
(株)ウォーターエージェンシー
オリックス・ファシリティーズ(株)
キーサイト・テクノロジー(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ザイマックス
サントリープロダクツ(株)
ソフトバンク(株)
東海旅客鉄道(株)
東芝三菱電機産業システム(株)
日本貨物鉄道(株)
日本ゼオン(株)
東日本電信電話(株)
(株)ヒューテック
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン(株)
ベン
森トラスト・ビルマネジメント(株)
雪印メグミルク(株)
横河ソリューションサービス(株)
(株)吉田製作所

【電子工学科】

(株)NHKテクノロジー
キーサイト・テクノロジー(株)
権田金属工業(株)
サントリー(株)
(株)タマディック
中外製薬工業(株)
東海旅客鉄道(株)
ニプロ(株)
日本原子力発電(株)
(株)日本サーキット
日本電子(株)
パナソニックITS(株)
(株)日立製作所
(株)日立ハイテクフィールドディング
日野自動車(株)
(株)ホンダテクノフォート
三菱電機ビルソリューションズ(株)

【情報工学科】

アクセントチュア(株)
ANAシステムズ(株)
FPTジャパンホールディングス(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
住友電設(株)
(株)全労済システムズ
チームラボ(株)
(株)ティ・アイ・ディ
電源開発(株)
東電設計(株)
トヨタ自動車(株)
パナソニックITS(株)
パナソニックコネク(株)
(株)日立ビルシステム
(株)FIXER
RIZAPグループ(株)
(株)LIXIL

【物質工学科】

(株)INPEX
(株)NBCメッシュテック
キヤノンマーケティングジャパン(株)
住友金属鉱山(株)
成友興業(株)
第一三共バイオテック(株)
第一三共プロファーマ(株)
(株)徳力本店
日東電工(株)
日本アトマイズ加工(株)
(株)日立ハイテクフィールドディング
Freewill(株)
雪印メグミルク(株)
(株)レゾナック・ホールディング

令和4年度 本科進学先一覧

【国公立】

東京工業高等専門学校専攻科
長岡技術科学大学
豊橋技術科学大学
公立はこだて未来大学(1年次入学)
岩手大学
筑波大学
宇都宮大学
群馬大学
千葉大学
東京大学
東京工業大学
東京農工大学
東京海洋大学
電気通信大学
東京都立大学

【私立】

山梨大学
静岡大学
福井大学
金沢大学
名古屋工業大学
岐阜大学
三重大学
神戸大学
徳島大学
九州大学
九州工業大学
宮崎大学
琉球大学
University of Massachusetts Lowell

【私立】

上智大学
早稲田大学
東京電機大学
日本大学
創価大学
放送大学
立命館大学

令和4年度 専攻科就職先一覧

旭化成メディカル(株)
(株)NTTデータNJK
キッコーマンビジネスサービス(株)
サントリープロダクツ(株)
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
(株)タカトミー
東京エレクトロンFE(株)

東京水道(株)
(株)日本デジタル研究所
日本電気通信システム(株)
富士電機(株)
(株)メンバーズ
防衛省 自衛隊

令和4年度 専攻科進学先一覧

長岡技術科学大学大学院
豊橋技術科学大学大学院
北陸先端科学技術大学院大学
電気通信大学大学院
東京医科歯科大学大学院
東京大学大学院
東京工業大学大学院

卒業生の活躍

岸田総理主催 「社会的起業家との車座対話」に TAKAO AI(株) 板橋代表(本校卒業生)が参加



岸田総理と意見交換する板橋代表(首相官邸Webサイトより)

岸田総理が推進する「新しい資本主義経済モデル」に向けた取り組みの中でスタートアップ支援が掲げられています。本車座対話は、社会的課題に対して課題解決を目指すスタートアップ企業が集まり、スタートアップ支援等に向けた意見交換をする場として開催されました。各社からは、起業の経緯や取り組みの概要、取り組みを推進する上での課題などについて広く意見交換がなされました。

TAKAO AI(株)板橋代表は、本校在学中の令和元年、「第30回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト」においてチームの代表として活躍し、課題部門では自動点字相互翻訳システム「doc(てんどく)」が高く評価され、最優秀賞・文部科学大臣賞などの各賞を受賞しました。令和3年にはこの成果を基にして高専初のベンチャー企業TAKAO AIを起業し、現在に至ります。

TAKAO AI 株式会社 概要

設立日：令和3年(2021)2月25日
創業者：代表取締役CEO/板橋龍太(令和4年3月 東京高専情報工学科 卒業)
取締役副社長CTO/藤巻晴葵(東京高専情報工学科5年 在学中)
技術顧問/山下晃弘(東京高専情報工学科 准教授)
所在地：東京都八王子市桐町1220-2
東京工業高等専門学校
事業内容：情報アクセシビリティ改善のための文書変換サービス等の運営・開発事業。
主に、AI(人工知能技術)を活用した視覚障害者のための点字自動翻訳システムの開発、及び文書解析や点訳技術を応用したサービス開発に取り組んでいる。

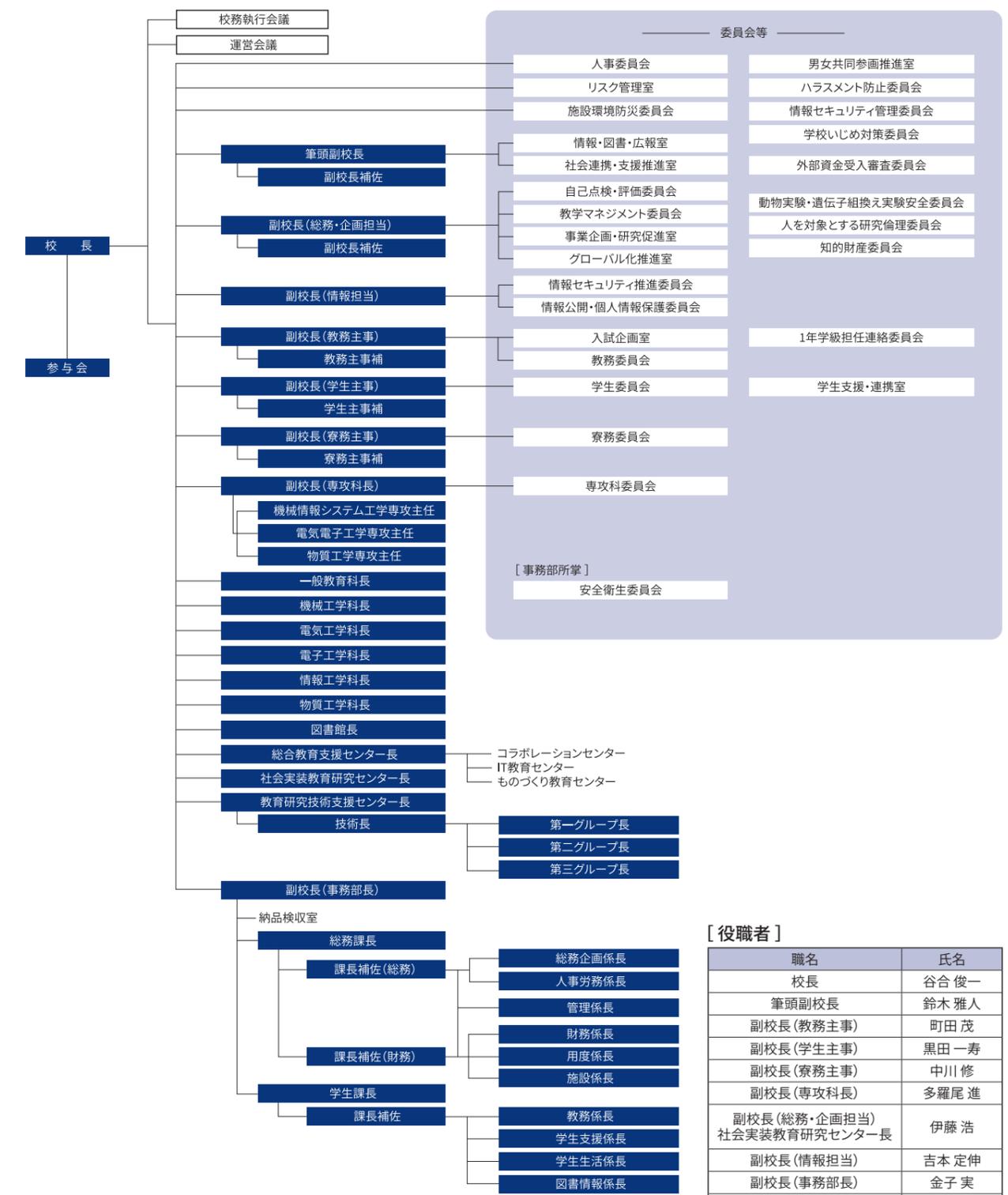
本校の沿革

昭和	年	月	本校設置 機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足
	41年	3月	第1棟、第2棟(一般講義棟)、第1寄宿舍、寮食堂等竣工
		12月	第2棟(工業化学科棟)、第1体育館、実習工場、第2寄宿舍の一部竣工
	42年	11月	第3棟(機械・電気工学科棟)、第2寄宿舍竣工
	43年	4月	事務部制が敷かれ庶務課、会計課設置
	44年	4月	学生課設置
		12月	水泳プール竣工
	45年	4月	電子工学科設置
	46年	3月	第3棟(電子工学科棟)、第3寄宿舍、学生食堂竣工
	49年	2月	第4棟(図書館・電子計算機室棟)竣工
	54年	1月	合宿研修所竣工
		4月	入学主幹設置
	56年	3月	第5棟(講義棟)竣工
	57年	3月	第6棟ソフトエネルギー教育研究施設竣工
		5月	第2体育館竣工
	58年	3月	くぬぎだ会館竣工
		4月	外国人留学生受け入れ開始
	59年	7月	大韓民国専門大学研修生受け入れ開始
		10月	日豪学生交流開始
	60年	4月	外国人受託研修員受け入れ開始
	63年	4月	情報工学科設置

平成	年	月	本校設置 情報工学科棟)竣工
		10月	創立25周年記念式典挙行
	3年	4月	ソフトエネルギー教育研究施設を科学技術研究センターに改組
	5年	4月	工業化学科を物質工学科に改組
	6年	6月	水泳プール改築及び附属家竣工
	7年	2月	第2棟(物質工学科棟)竣工
	8年	3月	第4棟(図書館)改修
	12年	3月	第2寄宿舍、寮食堂改修
		5月	フィンランド学生交流開始
	13年	7月	第3寄宿舍改修
	14年	4月	情報・メディア教育センター設置
	15年	4月	専攻科設置
	16年	4月	独立行政法人へ移行
	17年	3月	第8棟(専攻科・総合教育棟)竣工
	18年	1月	独立行政法人国立高等専門学校機構環境報告書作成のモデル校に指定
		3月	第1寄宿舍改修
		4月	「創成型工学教育プログラム:工学(融合複合・新領域)関連分野」JABEE 認定開始
	19年	4月	事務部の改組 - 2課体制(総務課・学生課)
	20年	3月	物質工学科棟等改修その他工事竣工
		4月	技術室を教育研究技術支援センターに改組
	21年	3月	機械・電気・電子工学科棟改修その他工事竣工
		4月	地域連携テクノセンター、情報・メディア教育センター、実習工場を産業技術センター、IT教育センター、ものづくり教育センターに改組し、上部組織として総合教育支援センターを設置
	22年	2月	第1体育館改修その他工事竣工
		4月	第1棟(管理棟)改修その他工事竣工
	24年	2月	第5棟講義棟演習室等改修工事竣工
	25年	3月	ものづくり教育センター改修その他工事竣工
	26年	3月	産業技術センター改修工事(一期)竣工
	27年	10月	創立50周年記念式典挙行
	30年	5月	第8棟(コラボレーション・commons)竣工

令和	年	月	国際寮竣工
	4年	8月	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)に認定(文部科学省)
		10月	社会実装教育研究センター設置

組織図 (令和5年4月1日時点)



[教員年齢構成表]

	教授	准教授	講師	助教	特任教授	嘱託教授	合計
61歳以上	4	1			2	4	11
56~60歳	6(1)	1					7(1)
51~55歳	11	1	1	1			14
46~50歳	5	9(3)					14(3)
41~45歳		8	1				9
36~40歳		8(1)	4(2)	1(1)			13(4)
31~35歳			3(1)				3(1)
30歳以下				4(1)※			4(1)
合計	26(1)	28(4)	9(3)	6(2)	2	4	75(10)

・校長除く ()は女性教員で内数 ※特命助教を含む

[役職者]

職名	氏名
校長	谷合 俊一
筆頭副校長	鈴木 雅人
副校長(教務主事)	町田 茂
副校長(学生主事)	黒田 一寿
副校長(寮務主事)	中川 修
副校長(専攻科長)	多羅尾 進
副校長(総務・企画担当)	伊藤 浩
社会実装教育研究センター長	原口 大輔
副校長(情報担当)	吉本 定伸
副校長(事務部長)	金子 実
一般教育科長	安富 義泰
機械工学科長	角田 陽
電気工学科長	綾野 秀樹
電子工学科長	一戸 隆久
情報工学科長	小嶋 徹也
物質工学科長	城石 英伸
総合教育支援センター長	伊藤 竜治
教育研究技術支援センター長	阿部 亘
学生課長	伊藤 竜治

東京工業高等専門学校における3つの教育方針 (アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー)

準学士課程

◆アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本校では、ものづくり、基礎学力、技術者としての倫理観、コミュニケーション能力、グループ活動を大切に考えることを基本としたエンジニアを育てることを目標に、次のような入学者を求めます。

- 理数系科目が好きであり、それらの科目の成績が優秀である。
- 科学や技術の分野で新しいことを学びたいという学習意欲がある。
- 英語でのコミュニケーション能力習得に熱意がある。
- ものづくりに興味があり、新しいものを作りたいと考えている。
- 仲間とともにグループで作業ができる。
- 自覚的な行動ができる。
- 規則正しい生活と、毎日の自発的学習ができる。

◆入学者選抜の基本方針

- 推薦による入学者選抜**
出身中学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の数学・理科の学力を身につけ、かつ自発的・継続的な学習能力を有する本校への入学意志が強い志願者を受け入れる。
- 学力による入学者選抜**
準学士課程における学習に必要な基礎学力をもつ志願者を数学の学力を重視した学力検査により選抜する。
- 編入学者の選抜**
編入学を志望する学科(学年)の学習に必要な学力、意欲及び適性のある志願者を学力検査及び面接により選抜する。

◆ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

本校では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

- 技術と地球環境保全との関係を理解し、危機管理・安全確保に関する倫理観と的確な行動規範
- 日本語及び英語によるコミュニケーション能力と国際的に活躍しうる素養
- 基礎学力の上に、実践力、創造力、研究開発能力
- 生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力及び社会の変化に的確に対応できる柔軟性

◆カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成および実施に関する方針)

本校では、「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、次のような編成方針、実施方針および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

◆編成方針

- 「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、一般科目と専門科目を配置し、以下のように5年一貫の体系的な教育課程を編成します。
- 技術と地球環境保全との関係を理解し、危機管理・安全確保に関する倫理観と的確な行動規範を学修するため、人文・社会科学や地学・生物学の一般科目、各分野のこれに関わる専門科目などの学修を体系的に編成します。
 - 日本語及び英語によるコミュニケーション能力と国際的に活躍しうる素養を育成するため、グループワーク、発表及び討論を取り入れた国語、外国語、社会、さらには保健体育に関わる一般科目を主とした学修を総合的に編成します。
 - 基礎学力の上に、実践力、創造力、研究開発能力を学修するため、自然科学系の一般科目、核となる専門分野ならびに融合・複合分野の専門科目などと、ものづくりマインドを養う実験・実習・演習科目および卒業研究とを組み合わせた学修を体系的に編成します。
 - 主体的に学び、生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力及び社会の変化に的確に対応できる柔軟性を育成するため、人文・社会科学や保健体育の一般科目、プロジェクト学習型の専門科目などの学修を体系的に編成します。

◆実施方針

- 「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、1年次より体験重視により専門分野の基礎を身につけるようにするとともに、学年に応じて幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するように、体系的な教育課程を学修できるようにします。
- 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、教育課程の中でどのように養成されるか把握できるよう、科目毎にシラバスによって、各科目との対応と、それらを修得する方法を学生が理解しやすいように説明します。また、これらを可視化したカリキュラムマップによって、学生の理解が深まるようにします。
 - 個々の学生の活発な主体的学習を促進するため、授業時間のみならず、予習・復習等、授業時間外のような機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦できるようにします。さらに応用編として、高学年では、社会実装プロジェクト系科目※1に取り組み、主体的に動き、対話・思考・試行・試作・実装して問題解決する一連を学びます。
 - 成績評価は、公正かつ透明性確保のため、各科目に掲げられた授業の到達目標に対する達成度を目安として採点し、評価の客観性を担保するため、複数の・複層的な積み上げによる成績評価を行います。
※1 社会実装プロジェクト系の専門科目は、学生が社会の現実の問題と向き合いながら、
 - 非専門家であるユーザーの生の声を工学的な表現や具体的な技術に変換する高度なコミュニケーション能力
 - ユーザーの複雑な要求に基づきながら制作物の改良に取り組み主体性と創造性を学修する科目です。イノベーション創出には、自らの工学的専門知識を活用し、「何を創りだすか」を考え、実際に社会で行動できる能力を持つ技術者が必要と考えられます。

◆成績評価基準

「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力の学修のため、体系的に一般科目ならびに専門科目が配置されています。科目の特性に応じて、試験、レポート及び成果物等により、科目毎の到達目標の達成度を客観的に評価し、その積み重ねにより「ディプロマ・ポリシー」に定めた各能力の修得度を総合的に評価します。本校では、次のような成績評価基準を定めています。

- 学期末における成績評価は、シラバスに示す評価方法に基づいて実施します。
- 学期の中間時点における成績評価もシラバスに示す評価方法に準じて実施します。
- 最終的な科目の成績は100点法により採点し、評価は以下のS・A・B・C・Dの5段階とし、成績評語は評価に応じて次のとおりとします。ただし、卒業研究については「合」又は「否」を、インターンシップについては、「修了」又は「未修」を判定します。

S(優) 特に優れている。	(100～95点)
A(優) 優れている。	(94～80点)
B(良) 普通である。	(79～70点)
C(可) やや劣る。	(69～60点)
D(不可) 劣る。	(59～0点)

専攻科課程

◆アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◆入学者選抜の基本方針

- 推薦による選抜**
出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。
- 学力による選抜**
一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。
- 社会人特別入試**
企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

◆ディプロマ・ポリシー(修了の認定に関する方針)

本専攻科は、工学およびその融合領域において、学生が自ら考え行動する力と科学技術を社会に実装する力を育む教育研究活動を通して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を目指しています。

本専攻科では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

- 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力
- 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、自ら修得した専門知識および技術を複合・融合的に応用して社会に実装する能力
- 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力に富み、PDCAサイクルをまわして研究開発を推進できる能力
- 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力

◆カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成および実施に関する方針)

本専攻科では、ディプロマ・ポリシーに定めた能力を育成するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、社会実装活動、長期インターンシップ(共同研究型、海外研修型)、ならびに創造的な研究活動の3つの活動を学生が自ら組み合わせ、自身に最適化した活動を行うことにより主体的に考え協同的に行動する能力を高められるようにします。また、この活動の前に学ぶべき科目を専攻科1年の前期に配置し、活動後に学ぶ方がより効果的な科目を専攻科2年に配置して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を行います。具体的には、次のような編成方針、実施方針および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

◆編成方針

- 専攻科1年後期のPBL等の主体的活動および特別研究を重視し、本科の科目と連携した科目や、リベラルアーツ科目を効果的に配置した教育課程を編成します。
- 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力を涵養するための科目として、専攻科1年の前期に、持続可能な社会の実現に向けての目標を学ぶ科目を配置し、持続可能な社会において技術者の求められる倫理観や行動規範を学生自らが考える科目を専攻科2年の後期に配置します。
 - 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、修得した専門知識および技術を自ら複合・融合的に応用して社会に実装する能力を涵養するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、この期間の活動をした後に、持続可能な社会の実現に向けて技術者としてどのように取り組むべきかを地球環境的な側面から考える科目を専攻科2年の前期に配置します。
 - 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力を身につけ、PDCAサイクルをまわして研究開発を推進できる能力を涵養するために、理科系の専門共通科目や各専攻の専門科目に加えて、東京工業大学大学院教員によるオムニバス形式の「先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱ」を専攻科1年の前期に配置し、最先端の研究の解説、研究のデザインの手法、研究における試行錯誤、ブレイクスルー、研究をする上での心構えや考え方、研究者になるまでのキャリアデザイン等を学べるようにします。また、専攻科1年後期の主体的活動の経験を専攻科2年の特別研究で活かせるようにするとともに、経営や起業について考えることにより総合的な創造力や企画力を涵養することを目的とした科目を専攻科2年の後期に配置します。
 - 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力を涵養するために、文化の異なる海外での活動経験を持つ教員が担当する科目と、実践的英語科目を専攻科1年の前期に配置し、専攻科1年の後期における海外での活動にも対応できるようにします。

◆実施方針

- 個々の学生に最適な学びを提供するために、専攻科1年の後期をPBL等の主体的活動の期間とします。この期間には集中講義科目である「インテンシブキャリアデザイン」と、実験科目である「イノベーションリサーチプロジェクト」を配置し、学生は、まず「インテンシブキャリアデザイン」の前半で、社会実装、国内外における長期インターンシップ(共同研究型、海外研修型)、創造的な研究、という3つの活動の組み合わせ方について、提示された取り組みモデルを参考にして学び、専攻横断的に配置されたメンター教員グループの支援を受けながら、自身の個性や関心に応じて「イノベーションリサーチプロジェクト」の実施計画書を作成します。次にこの実施計画書に従って活動を行い、「インテンシブキャリアデザイン」の後半で実施される発表会で幅広く講評を受け、活動の振り返りを行います。
- ディプロマ・ポリシーに定めた能力が、教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に示すために、各科目のシラバスにディプロマ・ポリシーのどの項目が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。また、持続可能な社会の実現に向けて活動する能力が教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に示すために、各科目のシラバスにSDGsの17の目標のうちどの目標が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。
- 成績評価は、公正かつ透明性を確保するため、各科目のシラバスに掲げられた授業の到達目標に対する達成度にしたがって採点し、評価の客観性を担保するため、科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により成績評価を行います。

◆成績評価基準

本校では、次のような成績評価基準を定めています。科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により、それぞれ身につけるべき能力の修得度を客観的に評価します。

成績はシラバスに示す評価方法に基づき100点法により採点し、成績評価は以下の優・良・可・不可の4段階とします。ただし、「特別研究」、「インテンシブキャリアデザイン」および「イノベーションリサーチプロジェクト」にあっては「合」又は「否」を判定します。

優	優れた成績	(100～80点)
良	良好な成績	(79～70点)
可	合格と認められる成績	(69～60点)
不可	合格と認められない成績	(59～0点)

教員一覧

一般教育科

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授	大野 秀樹	博士(物理学)	表面物理学、薄膜形成	物理、応用物理、現代物理学入門
教授	黒田 一寿	修士(教育学)	体育学	体育、健康と福祉
教授	Gates, John Wade	博士(工学)	画像処理	Oral Communication、Science English
教授	小中澤 聖二	理学博士	解析学	解析、線形代数、確率統計
教授	船戸 美智子	文芸学士	日本近世文学	国語総合、文章表現法、日本文化論
教授	安富 義泰	博士(数理学)	偏微分方程式論	解析、線形代数、確率統計
准教授	青野 順也	博士(文学)	日本語学	国語総合、文章表現法、文章表現論
准教授	井口 雄紀	博士(理学)	解析学	解析、線形代数、確率統計
准教授	櫻村 真由	修士(英語教育)	英語教育学、イギリス文学	Listening、Reading、Grammar & Writing
准教授	鈴木 慎也	修士(教育学)	考古学、社会科教育学	社会と文化から見る歴史、SDGs概論、技術者倫理
准教授	長橋 雅俊	博士(言語学)	応用言語学、英語教育	Reading、TOEIC English、Technical Writing
准教授	波止元 仁	博士(理学)	力学系理論	解析、線形代数、確率統計
准教授	藤井 俊介	博士(理学)	初期宇宙論、一般相対論	物理、応用物理、地球・環境・省エネルギー
准教授	前段 眞治	学術博士	ハドロン物理	物理、応用物理、量子から見た世界
准教授	向山 大地	修士(文学)	アメリカ文学	Grammar & Writing、Science English、English Skills for the Workplace
准教授	村瀬 智之	博士(文学)	哲学	対話としての哲学・倫理入門、哲学入門、技術者倫理
准教授	横溝 仁	修士(文学)	アメリカ文学・文化	Reading、Grammar & Writing、TOEIC English
講師	小林 礼実	Master of Arts、修士(文学)	言語学、倫理学	Grammar & Writing、Science English、Academic Presentation
講師	八田 直紀	博士(学術)	スポーツ・健康科学	体育、健康科学の理論と実践
講師	南出 大樹	修士(理学)	代数幾何	解析、線形代数、確率統計
助教	仙波 壽朗	修士(工学)	環境影響評価、被服材料学	化学
助教	廣池 桜子	修士(英語教育)	応用言語学、英語教育	Listening、Grammar & Writing、グローバル
助教	溝淵 絵里	修士(学術)	体育学	体育、健康と福祉

機械工学科

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授	角田 陽	博士(工学)	精密・微細加工学	先端加工学特論、加工学、経営工学
教授	齊藤 浩一	博士(学術)	生体工学	ロボティクス、メカトロニクス、機械工学展望
教授	多羅尾 進	博士(工学)	ロボット工学	システム制御、ロボット・モビリティ工学、機械数学
准教授	小泉 隆行	博士(工学)	材料力学	材料の力学特論、機械材料学、情報処理基礎
准教授	小山 幸平	博士(工学)	熱流体工学	移動現象論、流体力学、機械工学基礎力学
准教授	高田 宗一郎	博士(工学)	機械力学	機械力学特論、機械力学
准教授	筒井 健太郎	博士(工学)	熱工学	熱工学特論、伝熱工学、熱力学
准教授	堤 博貴	博士(工学)	精密工学	精密設計工学特論、CAD/CAM/CAE、機械工学基礎力学
准教授	富沢 哲雄	博士(工学)	スマートシステム工学	システム制御、ロボット・モビリティ工学
准教授	原口 大輔	博士(工学)	知能機械システム工学	デザイン工学、機械数学

電気工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	綾野 秀樹	博士(工学)	電力変換工学	電気機器、電気回路、電気機器工学特論
教授	伊藤 浩	博士(工学)	電子物性工学	電磁気学、半導体デバイス、電子デバイス特論
教授	玉田 耕治	博士(工学)	電気電子材料工学	電気回路、電磁気学、電子物性特論
准教授	木村 知彦	博士(工学)	計測工学	電気電子計測、電子回路、制御工学特論
准教授	新國 広幸	博士(工学)	光エレクトロニクス	電子回路II、応用数学、先端エレクトロニクス
講師	武田 美咲	博士(工学)	生体運動制御	情報基礎、プログラミング言語、生体医用工学概論
助教	根本 雄介	博士(工学)	プラズマ科学・電力工学	発電・電気エネルギー、プログラミング言語、電力エネルギー工学特論
教授※1	石原 学	博士(電気工学)	感性情報処理	デジタル回路、基礎電気工学
教授※1	鶴泉 雄治	工学修士/技術士(情報工学部門)	計算機工学	電気回路、計算機システム、計算機工学特論
教授※2	皆本 佳計	博士(工学)	電力工学	電気回路、電力工学

※1 特任 ※2 嘱託

電子工学科

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授	一戸 隆久	博士(工学)	固体電子工学	電磁気学、電子物性工学、基礎電子工学
教授	水谷 浩	博士(工学)	情報通信工学	ワイヤレスシステム、電気機器、電気回路演習
教授	安田 利貴	博士(工学)	生体システム	電磁気学、電気回路、生体医用工学概論
准教授	姜 玄浩	博士(工学)	数理情報工学	プログラミング応用、知識情報工学、コンピュータビジョン
准教授	永井 翠	博士(工学)	生体医工学	電気電子計測、電気回路、電気電子工学実験
講師	苅米 志帆乃	博士(情報学)	自然言語処理	デジタル回路、プログラミング言語、ものづくり基礎工学
講師	新田 武父	博士(工学)	機能材料・デバイス	電子回路、電気回路、先端電子デバイス
助教	佐々木 優	博士(理学)	微分幾何学	解析、線形代数、確率統計
教授※	加藤 裕	博士(工学)	材料物性工学	電気回路演習、電磁気学演習、電気数学
教授※	小池 清之	博士(工学)	情報通信工学	電気関係法令、基礎制御工学、電気数学

※嘱託

情報工学科

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授	北越 大輔	博士(工学)	機械学習	データマイニング、実践プログラミング
教授	小嶋 徹也	博士(工学)	情報ハイディング、情報通信	情報理論、情報数学
教授	鈴木 雅人	博士(情報科学)	パターン認識工学	画像認識工学、アルゴリズムとデータ構造
教授	田中 晶	博士(情報学)	情報通信	コンピュータシステム、論理回路
教授	松林 勝志	博士(工学)	制御工学	IoTシステム工学、ものづくり実践工学
教授	吉本 定伸	博士(工学)	適応信号処理	メディア信号処理、情報工学概論
准教授	山下 晃弘	博士(情報科学)	組み込みシステム開発	システムプログラミング、ものづくり実践工学
講師	西村 亮	修士(工学)	音声信号処理	プログラミング言語、電気・電子回路系実験実習
講師	松崎 頼人	博士(工学)	無線ネットワーク	情報処理特論、情報通信ネットワーク

物質工学科

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授	石井 宏幸	博士(工学)	化学工学	化学工学、環境・エネルギー工学
教授	庄司 良	博士(工学)	環境工学、生物工学	生体材料工学、生物化学工学、環境工学特論
教授	城石 英伸	博士(理学)	電気化学、分析化学	情報処理演習、工業化学、工業分析化学
教授	中川 修	博士(理学)	合成高分子化学	化学、高分子化学、物性化学
教授	町田 茂	工学博士	有機化学、合成化学	有機化学、有機合成化学
准教授	井手 智仁	博士(工学)	物理化学、錯体化学	物理化学特論、無機固体化学、無機化学
准教授	伊藤 篤子	博士(理学)	細胞生物学	基礎生物、生物化学、ライフサイエンス・バイオテクノロジー
准教授	伊藤 未希雄	博士(理学)	物理化学、表面化学	化学、無機化学、材料化学特論
准教授	皆本 千尋	博士(学術)	高分子物理化学、分析化学	化学、物理化学特論
准教授	山本 祥正	博士(工学)	分析化学、有機材料工学	情報基礎、分析化学、基礎材料科学
助教	中野 雅之	理学士	材料化学	化学
教授※	土屋 賢一	博士(工学)	固体物性	化学、応用数学、物理化学

※嘱託

社会実装教育研究センター

職位	氏名	学位	専門分野	主な担当
教授※1	伊藤 浩	博士(工学)	電子物性工学	センター長
教授※1	石原 学	博士(電気工学)	感性情報処理	副センター長
教授※1	多羅尾 進	博士(工学)	ロボット工学	研究部門(ロボット分野)
准教授※1	富沢 哲雄	博士(工学)	スマートシステム工学	研究部門(ロボット分野)
教授※1	城石 英伸	博士(理学)	電気化学、分析化学	研究部門(触媒分野)
准教授※1	高田 宗一郎	博士(工学)	機械力学	研究部門(AI分野)
助教※2	松原 弘明	修士(工学)	スポーツ科学	研究部門(AI分野)

※1 併任 ※2 特命

他機関等出向者

職位	氏名	学位	専門分野	出向先
教授	市川 裕子	博士(理学)	エルゴード理論、数学教育	独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局
教授	濱住 啓之	博士(工学)	情報通信工学	福井工業高等専門学校
准教授	水戸 慎一郎	博士(工学)	光磁気エレクトロニクス	タイ高専

教育課程表(令和5年度入学生向け)

一般科目(各学科共通)							
区分	授業科目	単位数	学年別配当				
			1年	2年	3年	4年	5年
人文系科目	Reading I	1	1				
	Reading II	1	1				
	Reading III	1		1			
	Reading IV	1		1			
	Reading V	1			1		
	Reading VI	1			1		
	Grammar & Writing I	1	1				
	Grammar & Writing II	1	1				
	Grammar & Writing III	1		1			
	Grammar & Writing IV	1		1			
	Grammar & Writing V	1			1		
	Listening	1	1				
	Oral communication I	1	1				
	Oral communication II	1		1			
	Science English I	1		1			
	Science English II	1			1		
	TOEIC English I	1				1	
	TOEIC English II	1					1
	国語総合 I	1	1				
	国語総合 II	1	1				
	国語総合 III	1		1			
	国語総合 IV	1		1			
	国語総合 V	1			1		
	文章表現法 I	1	1				
	文章表現法 II	2				2	
	対話としての哲学・倫理入門	1	1				
	現代社会論	1	1				
	社会と文化からみる歴史 I	1		1			
	社会と文化からみる歴史 II	1		1			
	科学技術から見る歴史 I	1			1		
	科学技術から見る歴史 II	1			1		
	技術者のための哲学・倫理	2				2	
	健康と福祉	1	1				
体育 I	2	2					
体育 II	2		2				
体育 III	2			2			
体育 IV	2				2		
芸術	1	1					
開設単位数小計	44	15	12	9	8	0	
履修科目	基礎数学 I	2	2				
	基礎数学 II	2	2				
	基礎数学 I 演習	1	1				
	基礎数学 II 演習	1	1				
	線形代数 I	1		1			
	線形代数 II	1		1			
	線形代数 III	1			1		
	線形代数 IV	1			1		
	微分積分 I	2		2			
	微分積分 II	2		2			
	確率統計	1			1		
	解析 I	2		2			
	解析 II	1			1		
	微分方程式	2				2	
	応用数学	2				2	
	物理 I	1	1				
	物理 II	1	1				
	物理 III	1		1			
	物理 IV	1		1			
	物理 V	1			1		
	物理 VI	1			1		
	化学 I	1	1				
	化学 II	1	1				
化学 III	1		1				
化学 IV	1		1				
化学 V	1			1			
化学 VI	1			1			
地球・環境・省エネルギー	2				2		
ライフサイエンス・バイオテクノロジー	2					2	
開設単位数小計	38	10	10	10	6	2	
選択科目	教養選択 I	2				2	
	教養選択 II	2				2	
	Comprehensive English	2				2	
	数学総合演習	2				2	

機械工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修得科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	機械工学演習 I	2		2				
	機械工学演習 II	2		2				
	機械工学演習 III	1			1			
	機械工学演習 IV	1			1			
	機械工学演習 V	1				1		
	機械工学演習 VI	1				1		
	機械工学実験実習 I	1		1				
	機械工学実験実習 II	1		1				
	機械工学実験実習 III	2			2			
	機械工学実験実習 IV	2			2			
	機械工学実験実習 V	2				2		
	機械工学実験実習 VI	2				2		
	インターンシップ	3				3		
	社会実装プロジェクト I	1			1			
	社会実装プロジェクト II	2				2		
	社会実装プロジェクト III	2					2	
	輪講 I	2					2	
	輪講 II	2					2	
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	45	5	6	6	12	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2				2	
		経営工学	2					2
		機械工学展望	1		1			
		機械工学基礎力学 I	1		1			
		機械工学基礎力学 II	1		1			
		材料力学 I	1		1			
		材料力学 II	1			1		
		機械力学 I	1			1		
		機械力学 II	2				2	
		熱力学	2				2	
		流体力学	2				2	
伝熱工学		2					2	
機械材料学		2				2		
加工学		2					2	
機械設計法 I		1			1			
機械設計法 II		1			1			
メカトロニクス		1			1			
基礎制御工学		2					2	
情報処理基礎		2					2	
機械数学		2					2	
デザイン工学		2					2	
CAD/CAM/CAE		2					2	
開設単位数小計	36	1	4	5	12	14		
コース選択科目	電力・電子コース							
	基礎電気工学	2				2		
	基礎電子工学	2				2		
	発電・電気エネルギー	2					2	
	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2				2		
	情報通信ネットワーク	2				2		
	計算機システム	2					2	
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2					2	
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2				2		
	知識情報工学	2				2		
	ロボット・モビリティ工学	2					2	
	先端テクノロジー	2					2	
	統計リテラシー	2					2	
	ものづくり実践工学 I	2				2		
ものづくり実践工学 II	2					2		
選択科目	先端テクノロジー	2				2		
	統計リテラシー	2				2		
	ものづくり実践工学 I	2			2			
	ものづくり実践工学 II	2				2		

電気工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修得科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	電気電子工学実験 I	2		2				
	電気電子工学実験 II	2		2				
	電気電子工学実験 III	2			2			
	電気電子工学実験 IV	2			2			
	電気電子工学実験 V	2				2		
	電気電子工学実験 VI	2				2		
	インターンシップ	3				3		
	社会実装プロジェクト I	1			1			
	社会実装プロジェクト II	2				2		
	社会実装プロジェクト III	2					2	
	輪講 I	2					2	
	輪講 II	2					2	
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	39	5	4	4	10	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2				2	
		経営工学	2					2
		電気・電子工学展望	1		1			
		電気回路 I	2		2			
		電気回路 II	2		2			
		電気回路 III	1			1		
		プログラミング言語	1		1			
		デジタル回路	1		1			
		電磁気学 I	2			2		
		電磁気学 II	2			2		
		電気応用演習	1			1		
		電子回路 I	1			1		
		電子回路 II	2				2	
		電気電子計測	2				2	
		電気数学	2				2	
		制御工学	2				2	
		電気機器 I	2				2	
電気機器 II		2				2		
電力システム		2				2		
発電・電気エネルギー		2					2	
電子物性工学		2				2		
半導体デバイス		2				2		
光エレクトロニクス	2					2		
開設単位数小計	41	1	7	7	16	10		
コース選択科目	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2				2		
	情報通信ネットワーク	2				2		
	計算機システム	2					2	
	情報処理基礎	2					2	
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2					2	
	生体材料工学	2					2	
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2				2		
	知識情報工学	2				2		
	ロボット・モビリティ工学	2					2	
	先端テクノロジー	2					2	
	統計リテラシー	2					2	
	ものづくり実践工学 I	2			2			
	ものづくり実践工学 II	2				2		
	選択科目	先端テクノロジー	2				2	
	統計リテラシー	2				2		
	ものづくり実践工学 I	2			2			
	ものづくり実践工学 II	2				2		

電子工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修得科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	電気電子工学実験 I	2		2				
	電気電子工学実験 II	2		2				
	電気電子工学実験 III	2			2			
	電気電子工学実験 IV	2			2			
	電気電子工学実験 V	2				2		
	電気電子工学実験 VI	2				2		
	インターンシップ	3				3		
	社会実装プロジェクト I	1			1			
	社会実装プロジェクト II	2				2		
	社会実装プロジェクト III	2					2	
	輪講 I	2					2	
	輪講 II	2					2	
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	39	5	4	4	10	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2				2	
		経営工学	2					2
		電気・電子工学展望	1		1			
		電気回路 I	1		1			
		電気回路 II	1		1			
		電気回路演習 I	1		1			
		電気回路演習 II	1		1			
		プログラミング言語	1		1			
		デジタル回路	1		1			
		電磁気学 I	1			1		
		電磁気学 II	1			1		
		電磁気学演習	1			1		
		電気回路 III	1			1		
		電気電子計測	1			1		
		電子回路 I	1			1		
		電子回路 II	1			1		
		電気数学 I	2				2	
電気数学 II		2				2		
電気回路 IV		2				2		
プログラミング応用		2				2		
電子物性工学		2				2		
先端電子デバイス		2				2		
電気機器	2					2		
基礎制御工学	2					2		
発電・電気エネルギー	2					2		
開設単位数小計	37	1	7	7	14	8		
コース選択科目	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2				2		
	情報通信ネットワーク	2				2		
	計算機システム	2					2	
	情報処理基礎	2					2	
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2					2	
	生体材料工学	2					2	
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2				2		
	知識情報工学	2				2		
	ロボット・モビリティ工学	2					2	
	先端テクノロジー	2					2	
	統計リテラシー	2					2	
	ワイヤレスシステム	2					2	
	電気関係法令	2					2	
	ものづくり実践工学 I	2			2			
ものづくり実践工学 II	2				2			
選択科目	先端テクノロジー	2				2		
	統計リテラシー	2				2		
	ものづくり実践工学 I	2			2			
	ものづくり実践工学 II	2				2		

情報工学科							
区分	授業科目	単位数	学年別配当				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修得科目	ものづくり基礎工学	5	5				
	情報工学科実験実習 I	3		3			
	情報工学科実験実習 II	3		3			
	情報工学科実験実習 III	3			3		
	情報工学科実験実習 IV	3			3		
	情報工学科実験実習 V</						

学生・教職員受賞一覧

学生

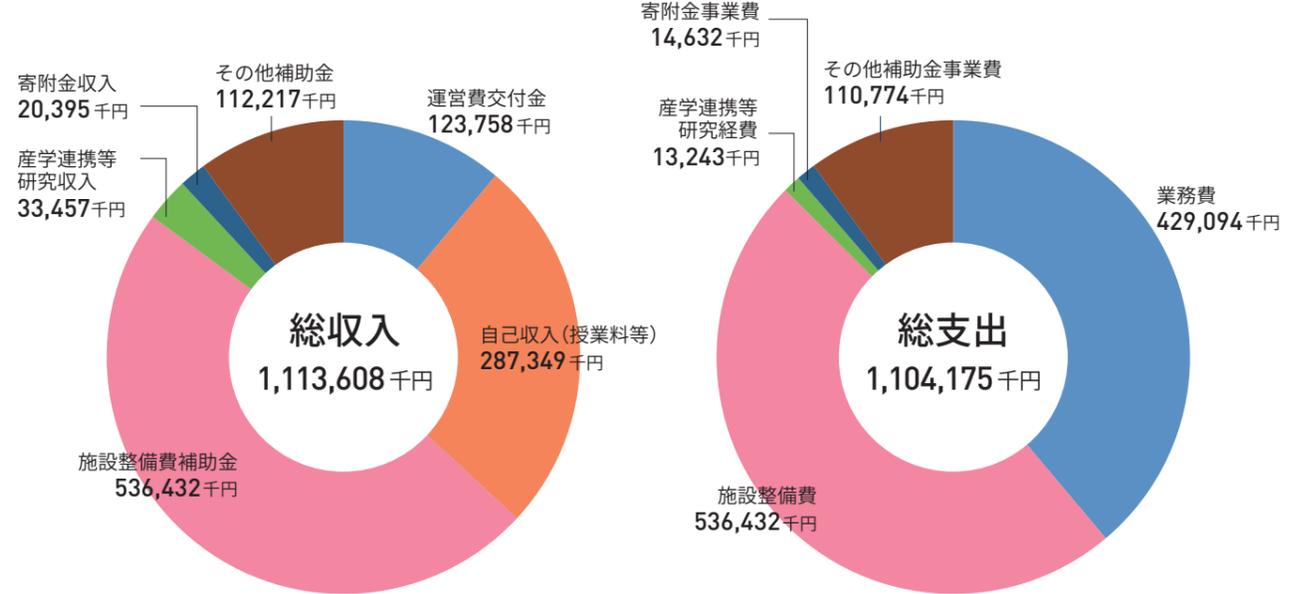
年度	所属等*	氏名	主催機関	受賞等内容
R02	3J	米丸 陽喜	U-22プログラミング・コンテスト実行委員会	U-22プログラミング・コンテスト2020で経済産業省商務情報政策局長賞(テクノロジー部門)を受賞
	5J	石田 一翔	大学コンソーシアム八王子	第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、優秀賞を受賞
	5J	中野 良春	大学コンソーシアム八王子	第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、優秀賞を受賞
	5C	飯田 佑佳	化学工学会	第23回学生発表会優秀賞を受賞
	1AE	飯島 修太	長岡技術科学大学	国際会議 5th STI-Gigaku 2020 で、Best Research Presentation Awardを受賞
	1AE	曾我 諒太	米国電気電子学会(IEEE)	国際学会 2020 IEEE 9th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE2020)で Excellent Poster Award(Gold Prize)を受賞
	1AC	今野 龍刀	電気化学会第88回大会・電気化学会技術・教育シンポジウム	優秀学生発表賞と奨励賞を受賞
	2AC	工藤 光日	Angewandte Chemie 誌	東京工業大学と共同研究で実施した特別研究の成果が東京工業大学ニュースに掲載
R03	5J	板橋 電太	國立中興大學(台湾)	国際会議 ISET2021 で、Second Prize of Oral Presentation(プレゼンテーション賞)を受賞
	1AS	大丸 綾子	國立中興大學(台湾)	国際会議 ISET2021 で、Third Prize of Oral Presentation(プレゼンテーション賞)を受賞
	2AS	木本 悠斗	情報処理学会	第84回情報処理学会全国大会で学生奨励賞を受賞
	1AS	大塚 理史	株式会社リバネス	リバネス高専研究費大阪ベイエリア賞受賞
	5J	片野 結	日本感性工学会	生命ソフトウェア・感性工房・而立の会合同シンポジウム2021で優秀発表賞を受賞
	5J	小谷 晃太郎	大学コンソーシアム八王子	第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、優秀賞を受賞
	5J	小出 新	大学コンソーシアム八王子	第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、準優秀賞を受賞
	1AE	LEE JIA YUNG RYAN	長岡技術科学大学	国際会議 6th STI-GIGAKU Best Research Presentation Award(住友理工 株式会社)を受賞
	5C	當麻 佑哉	材料技術研究協会	材料技術研究協会討論会2021で、シルバーポスター賞を受賞
	4M	木村 明香里	国立研究開発法人防災科学技術研究所と国立高等専門学校機構が共催	第4回高専防災コンテスト最終審査会で、特別賞を受賞
	4M	五十嵐 祥大		
	5C	岩崎 多聞	日本水環境学会	日本水環境学会の年会で、ライオン賞を受賞
R04	3M	小林 桂介	精密工学会東海支部	精密工学会東海支部70周年記念事業コンテスト企画「絵画・イラスト・CGコンテスト」部門で、最優秀賞を受賞
	1AS	栗田 桃花	日本ばね学会	2022年度 秋季ばね及び復元力応用講演会で、最優秀ポスター賞を受賞
	5M	小島 立登	大学コンソーシアム八王子	第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、優秀賞を受賞
	5M	富山 賢悟	大学コンソーシアム八王子	第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、優秀賞を受賞
	2AE	吉川 真由	日本生体医工学学会	日本生体医工学サマースクール2022で、最優秀賞を受賞
	3C	田邊 梨帆 梯 綾音 武内 遥夏 Batzaya Enerel	独立行政法人国立高等専門学校機構	「高等専門学校制度創設 60 周年記念」第1回高専 GIRLS SDGs × Technology Contest (高専 GCON2022)で、60周年記念賞を受賞
	1AC	渡邊 知樹	材料技術研究協会	材料技術研究協会討論会2022で、優秀口頭講演賞を受賞
	2AE	中垣 拓海	電気学会東京支部	電気学会東京支部電気学術奨励賞を受賞
	5E	渡邊 直樹	電気学会東京支部新潟支所	第17回高専パワエレフォーラムにおいて優秀発表賞を受賞
	5E	横井 将人	映像情報メディア学会	放送技術研究会で優秀賞を受賞

教職員

年度	所属等*	氏名	主催機関	受賞等内容
R02	G准教授	青野 順也	独立行政法人国立高等専門学校機構	プレ教材コンテンツコンテストにおいてオンライン授業の実践例が学生賞を受賞
	G准教授	鈴木 慎也	J:COMチャンネル	SGDsに関する取組みで、J:COMチャンネルの報道番組「ジモト応援! つながるNews」の取材を受ける。
	M准教授	富沢 哲雄	計測自動制御学会	第21回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2020)にて、「優秀講演賞」を受賞
	M准教授	原口 大輔	計測自動制御学会	第21回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2020)にて、「優秀講演賞」を受賞
	M講師	高田 宗一朗	ICTSS2020	International Conference on Technology and Social Science 2020で Best Paper Awardを受賞
	E助教	永野 健太	米国電気電子学会(IEEE)	2019年にIEEE/ASME Transactions on Mechatronicsに掲載された論文が最優秀論文として表彰を受ける。
	D准教授	姜 玄浩	米国電気電子学会(IEEE)	国際学会 2020 IEEE 9th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE2020)で Excellent Poster Award(Gold Prize)を受賞
	D准教授	水戸 慎一郎	電気学会	基礎・材料・共通部門研究会の優秀論文発表賞を受賞
	J教授	小嶋 徹也	独立行政法人国立高等専門学校機構	プレ教材コンテンツコンテストにおいてオンライン授業の実践例が学生賞を受賞
	J教授	松林 勝志	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ	マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会副委員長としての貢献によりISS功労賞を受賞
	J准教授	山下 晃弘	情報処理学会	本校OB学生と共同執筆した論文が、情報処理学会で論文賞を受賞
	C准教授	山本 祥正	一般社団法人日本ゴム協会	第31回エラストマー討論会で英語優秀発表賞を受賞
	技術職員	新田 武父	日本工学教育協会	技術職員がファーストオーサーとして執筆した論文が「工学教育」誌に掲載
	R03	G教授	黒田 一寿	日本テニス協会
G助教		八田 直紀	日本学校メンタルヘルス学会	日本学校メンタルヘルス学会 第25回大会にて優秀演題賞を受賞
G教授		黒田 一寿		
G准教授		櫻村 真由	日本工学教育協会	日本学校工学教育協会第69回年次大会・工学教育研究講演会において発表賞を受賞
E教授		濱住 啓之	映像情報メディア学会	フェロー称号受賞2021年5月28日
D教授		大塚 友彦	日本工学教育協会	第9回 JSEE AWARDを受賞
D准教授		姜 玄浩	米国電気電子学会(IEEE)	国際学会 2022 International Conference on Advanced Communications Technology(ICACT2022)で Outstanding Paper Awardを受賞
R04	C准教授	伊藤 未希雄	材料技術研究協会	材料技術研究協会討論会2021で、シルバーポスター賞を受賞
	M講師	小泉 隆行	日本ばね学会	2022年度 秋季ばね及び復元力応用講演会で、最優秀ポスター賞を受賞
	C准教授	伊藤 未希雄	材料技術研究協会	材料技術研究協会討論会2022で、優秀口頭講演賞を受賞

※G:一般教育科、M:機械工学科、E:電気工学科、D:電子工学科、J:情報工学科、C:物質工学科、AS:機械情報システム工学専攻、AE:電気電子工学専攻、AC:物質工学専攻
学年、職位は受賞年度のものです

財政 (令和3年度)



土地

名称	面積(m ²)
校舎等	42,584
グラウンド等	26,024
寄宿舍	10,774
その他	18,283
合計	97,665
職員宿舎	4,185
総面積	101,850

施設の概要

名称	構造	面積(m ²)
第1棟(管理棟)	RC3	1,654
第2棟(物質工学科・一般講義棟)	RC4	4,182
第2棟(物質工学科棟)	RC4	508
第3棟(機械・電気・電子工学科棟)	RC4	5,456
第4棟(図書館棟)	RC2-1	2,097
第5棟(講義棟)	RC2	660
第6棟(社会実装教育研究センター・産業技術センター)	RC2	461
第7棟(情報工学科棟)	RC5	2,224
第8棟(専攻科・総合教育棟)	RC4	1,168
第8棟(コラボレーション・commons)	RC3	897
ものづくり教育センター	S1	944
第1体育館	S+RC	1,123
第2体育館	S+RC	880
武道場	S1	311
合宿研修所	S1	196
くぬぎだ会館	RC2-1	663
学生食堂	S1	216
国際寮	RC3	1,502
第2寄宿舍	RC4	1,298
第3寄宿舍	RC4	1,362
寮食堂	RC1	699
その他		1,036
職員宿舎		3,920
合計		33,457

CAMPUS MAP キャンパスマップ

東京工業高等専門学校は
京王線の西の端っこに位置してる。
高等学校とはちょっと違うし、
専門学校とも全然違うんだけど、
いろんな夢をかなえるために、
くろうを感じることはあっても
ぜったい負けない気持ちを持って
★スターに向かって頑張れるとこ。
(秘密のメッセージが隠れているよ!)



ウェルネスセンター



図書館 閲覧室



自学自習室



国際寮



野球場・球技場



第1体育館



コラボレーション・commons



応用物理実験室



教室



実習工場



第1 演習室



情報工学科電算室

- 1 第1 棟 [管理棟 (一般教育科)]
- 2 第2 棟 [物理工学科・一般講義棟]
- 3 第3 棟 [機械・電気・電子工学科棟]
- 4 第4 棟 [図書館棟 (学生課)]
- 5 第5 棟 [講義棟]
- 6 第6 棟 [社会実装教育研究センター・産業技術センター]
- 7 第7 棟 [情報工学科棟]
- 8 第8 棟 [専攻科・総合教育棟]
- 9 第8 棟 [コラボレーション・commons]
- 10 ものづくり教育センター

◆ 外部評価

本校では次の外部評価を受審しています。

1) 機関別認証評価

高等教育機関は、学校教育法において、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受けることが義務づけられています。大学改革支援・学位授与機構が実施する、教育研究水準の向上に資することを目的とした高等専門学校機関別認証評価を受審しています。

2) 専攻科における教育の実施状況等(レビュー) 審査・特例適用認定審査

大学改革支援・学位授与機構が実施する、認定を受けた専攻科における教育の実施状況等についての審査を受審しています。

また、特例適用認定審査は、大学改革支援・学位授与機構が実施する専攻科生の学位取得に関わる学士課程の質保証審査です。本校専攻科は、特例適用の認定を受けており、修了見込み者が行う学士の学位授与申請については学修成果に関する試験が免除されます。

◆ 一般社団法人東京高専技術懇談会

一般社団法人東京高専技術懇談会は、本校と連携して自社製品の開発や技術の向上を目指す、主に八王子市周辺企業との産学連携組織です。平成5年に設立、平成21年に法人化し、会員数は94社(令和4年10月現在)です。技術に関する情報交換とお互に、地域活性化に寄与することを目的として、講演会・講習会・見学会・異業種交流会等を実施しています。

技術懇談会ホームページ(<http://www.gizyutsucon.com/>)

◆ 同窓会

本校同窓会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的として活動しています。毎年文化祭期間に総会を開催し、活動計画や母校との連携について話し合い、外部からのさまざまな協力・支援を行っています。

同窓会ホームページ(<https://dosokai.ne.jp/tnc/>)

◆ 後援会

本校全学生の保護者を会員とする後援会の活動のひとつが、学校主催行事への支援で、工場見学・研修旅行・インターンシップなどの教育活動の他に、クラブ活動・体育祭・文化祭への助成も行っています。また近年では、トレーニングセンターの新築(平成22年度)や体育館養生ボード(平成24年度)など、学校環境の整備にも取り組んでいます。

後援会ホームページ(<https://nittcs.org/>)

ボクを知らない人「はじめまして」。
知ってる人「こんにちは」

ボクの名前は【はざまる】といいます。
ボクは霊峰高尾山に住んでる天狗様をモチーフに、
東京高専の英知を結集して作られた
テング型ロボットなのです。

- メカニズムは【機械工学科】
- エネルギー電池は【電気工学科】
- 制御回路は【電子工学科】
- 人工知能は【情報工学科】
- 特殊ボディは【物質工学科】
- 基礎教養は【一般教育科】

得意なことは空を飛ぶこと。バイクの分解組立はお手のものさ。
東京高専生にまじっているいろいろな技術を学ぶために、
修行に明け暮れる充実した日々を過ごしてるんだ。
以上、簡単な自己紹介だったけどよろしくね!



東京工業高等専門学校
広報イメージキャラクター
“はざまる”